

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

<41週> 感染性胃腸炎 - 過去5年間の同時期と比べやや多くなっており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される / その他最新動向

<9月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.7

<腸管出血性大腸菌感染症> 第41週の報告数は41で、第41週時点での今年の累積報告数は3,978



病原体情報
P.8

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / 手足口病



速報
P.9

保育園における腸管出血性大腸菌O157集団感染 - 兵庫県



海外感染症情報
P.10-11

米国の炭疽 - 更新 / 循環しているワクチン由来のポリオウイルスに関連した急性弛緩性麻痺 - フィリピン



感染症の話
P.12-14

細菌性髄膜炎
発症すれば死亡率は高く、また救命できても重篤な後遺症を残すことがあり、特に小児においては侮れない感染症である



お知らせ

読者のコーナー
P.15



グラフ総覧(41週)
P.16-22



グラフ総覧(9月)
P.23-27



9月のデータ
P.28-31



41週のデータ
P.32-39



発生動向総覧

第41週コメント 10月18日集計分

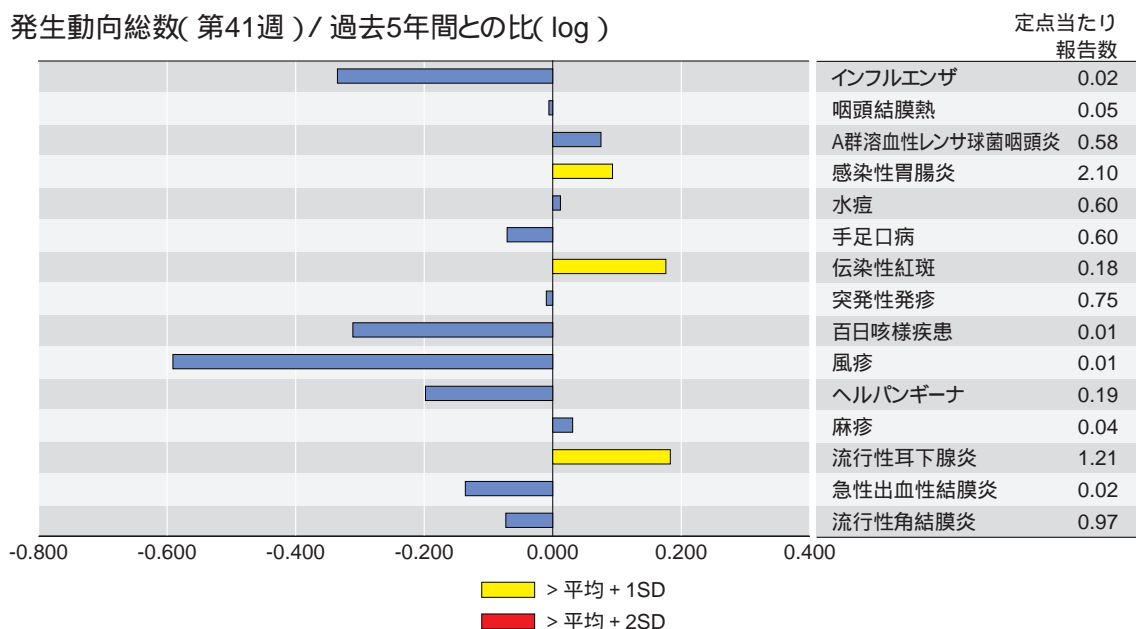
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ2例(推定感染地: 国内、インド各1例)、細菌性赤痢11例(推定感染地: 国内3例、タイ2例、中国、ベトナム、インドネシア、北朝鮮各1例、不明2例)、腸チフス1例(推定感染地: インド・ネパール・中国)、パラチフス2例(2例ともインドネシア)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症41例(腸管出血性大腸菌感染症の詳細な情報については7ページ「注目すべき感染症」を参照)
- 4類感染症: アメーバ赤痢3例、ツツガムシ病1例、日本紅斑熱1例(島根県)、破傷風1例、急性ウイルス性肝炎4例
 - A型2例
 - B型1例_感染経路: 不明
 - 病原不明1例
- 後天性免疫不全症候群10例(AIDS 2例、無症候性キャリア6例、その他2例)
 - 感染経路: 性行為8例、異性間5例、同性間3例
 - その他1例、不明1例
- 梅毒3例(早期顕症2例、無症候1例)
- マラリア1例(型不明マラリア1例_推定感染地: 西アフリカ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べやや多くなっており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される。流行性耳下腺炎は、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続しており、定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県(5.4)、沖縄県(4.2)などである。流行性角結膜炎は、宮崎県で定点当たり報告数7.0と多くなっている。

発生動向総数(第41週)/過去5年間との比(log)

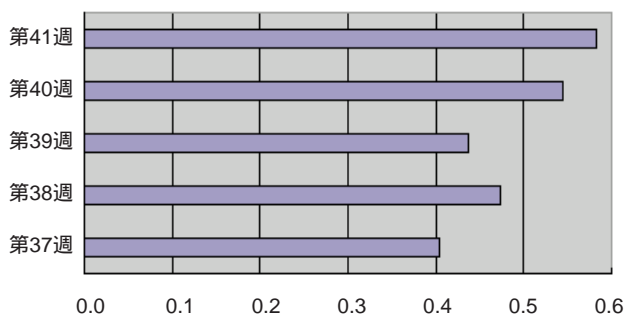


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

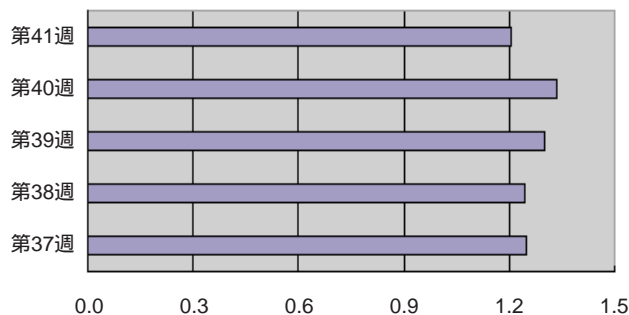
最近の注目疾患－5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は前週より増加し、ここ5週間では全体として緩やかな増加傾向を示しており、今後年末・年始のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より減少した。感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数は前週を上回った。基幹病院定点からの報告疾患であるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数はわずかに減少したが、昨年、一昨年に比べると多くなっている。

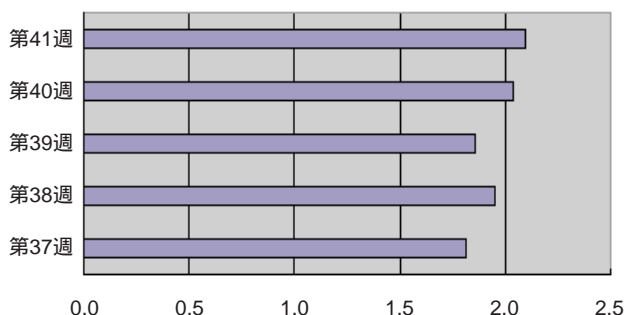
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



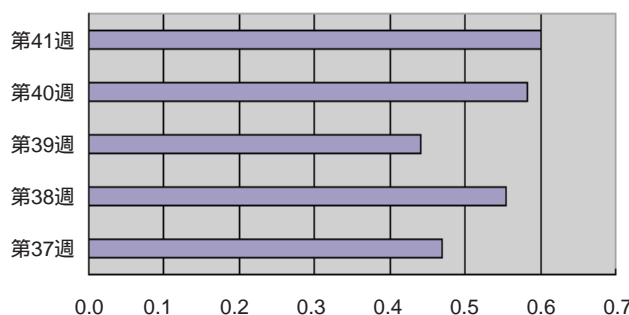
流行性耳下腺炎



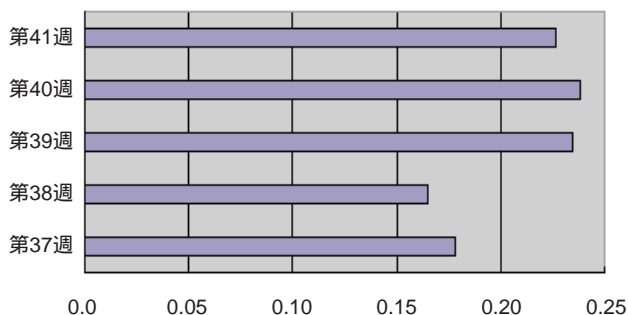
感染性胃腸炎



水痘



マイコプラズマ肺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

9月コメント

性感染症について(10月9日集計分)

2001年9月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が4.02(男1.77、女2.25)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.77(男0.35、女0.42)、尖形コンジロームが0.48(男0.28、女0.21)、淋菌感染症が2.13(男1.76、女0.37)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。男女ともに性器クラミジア感染症、淋菌感染症が高い水準にある(23～26ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では30～34歳にも多く、他の3疾病に比べ、50代以降の高年齢層からの報告も少なくない。男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.27、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.22、尖形コンジローム(図1c)で1:0.74、淋菌感染症(図1d)で1:0.21で、淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾病では、若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(9月の性感染症定点総数は908)

感染症法が施行された1999年4月以降について、15～29歳の若年齢者層での各性感染症の男女別月別定点当たり報告数を図2に示した。男女ともに性器クラミジア感染症、淋菌感染症の増加が顕著であるが、特に今月、女性では淋菌感染症が性器クラミジア感染症に次いで2番目に多い疾病となった。

なお、各性感染症のグラフ総覧の月別定点当たり報告数の1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

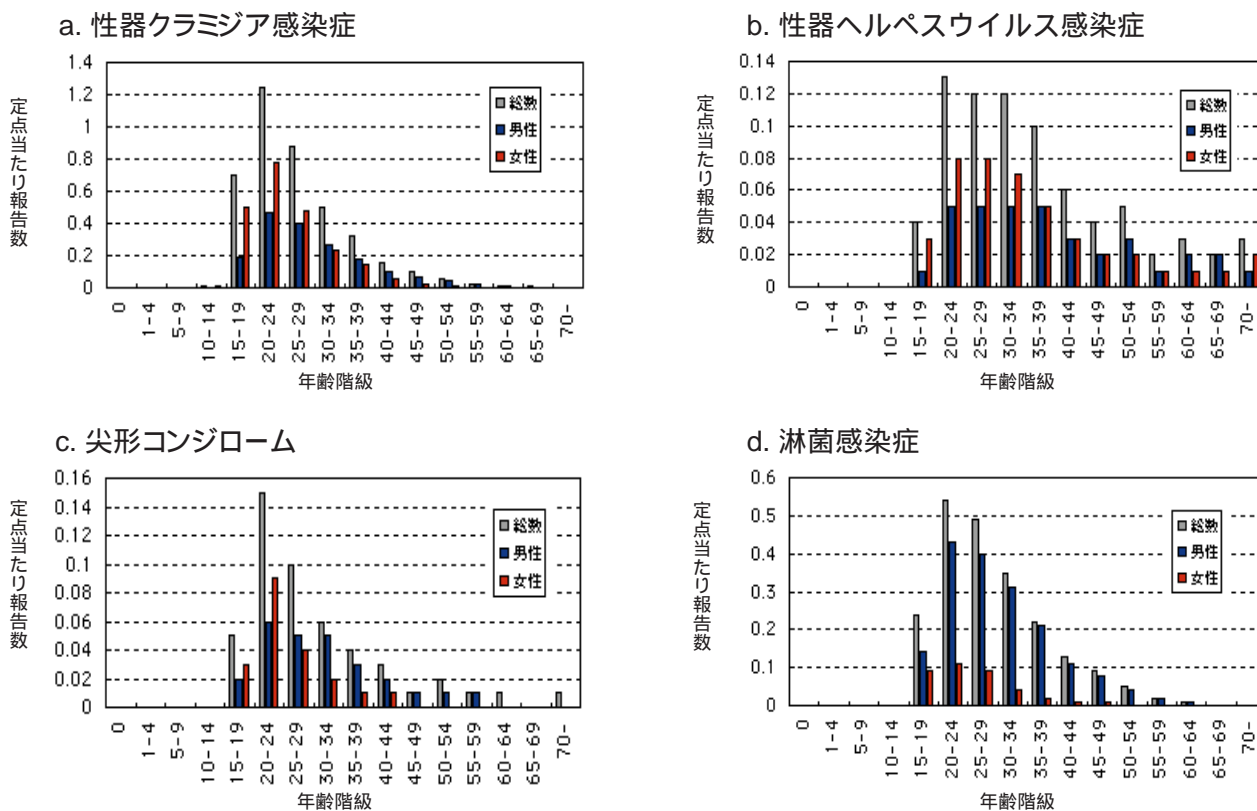
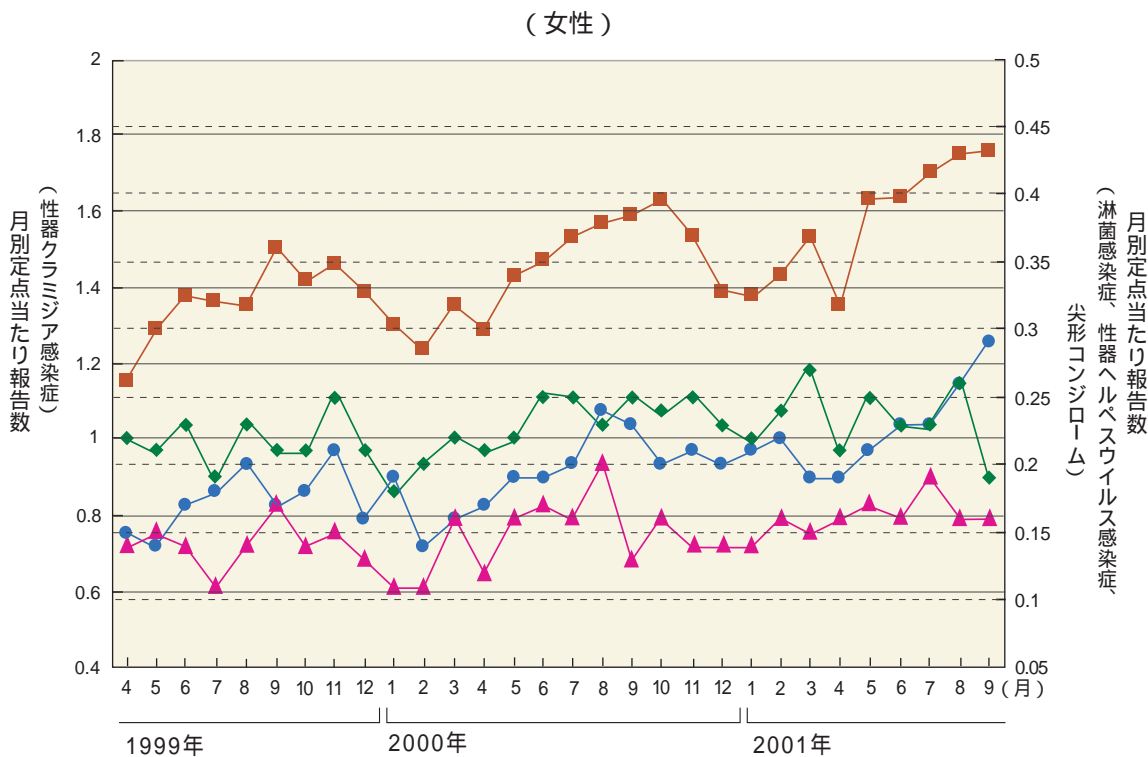
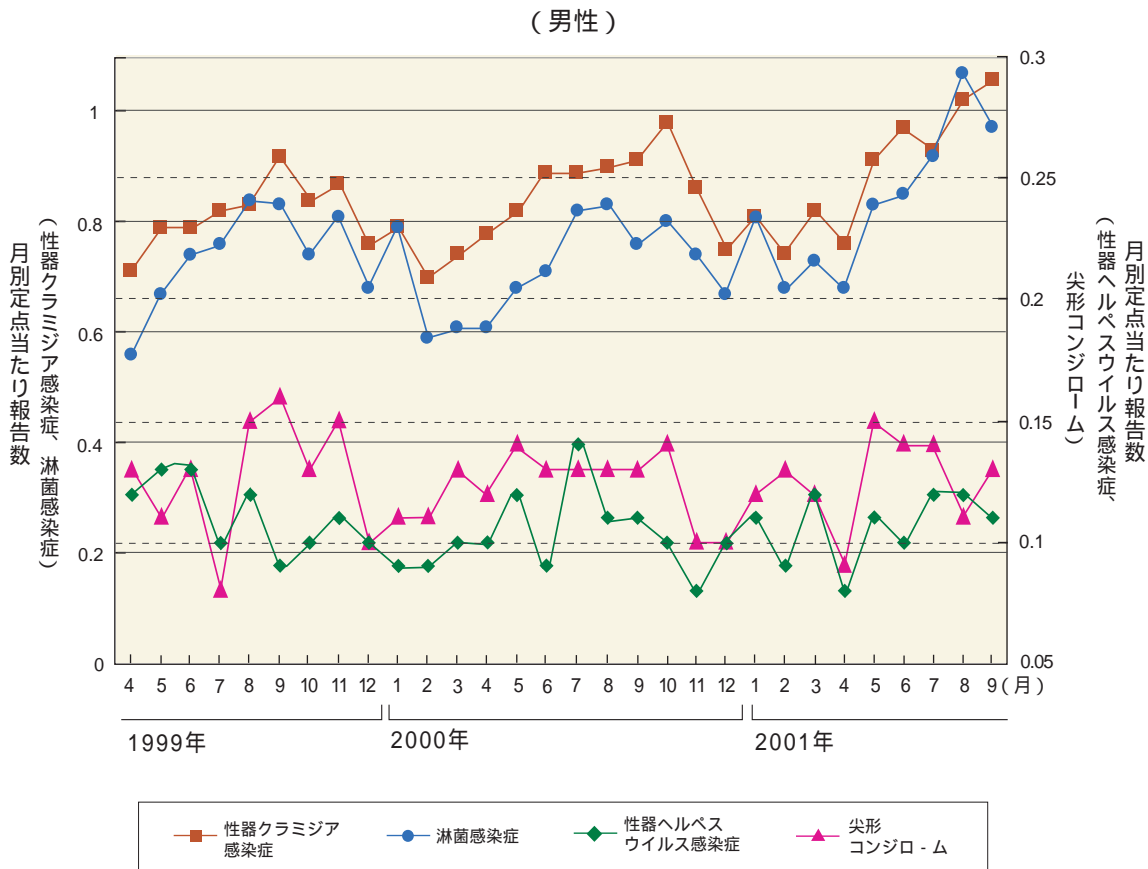


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

図2. 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)



薬剤耐性菌について (10月9日集計分)

【注】 内の+、- は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少を表す。

9月の基幹定点総数: 452 .

9月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.2(-)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 0.44(-)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.14(-)

年齢階級別: MRSA感染症……0歳、1～4歳と高齢者に多く、報告数の60%は65歳以上。

PRSP感染症……1-4歳が最も多く、全体の38%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症……高齢者に多く見られ、全体の63%が65歳以上。

結核サーベイランス月報 (10月19日集計分)

9月の新登録患者数は2,749人、活動性肺結核患者は2,289人(うち、喀痰塗抹陽性患者は1,019人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は595人、非定型抗酸菌陽性者数は282人であった。

*マル初...結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。

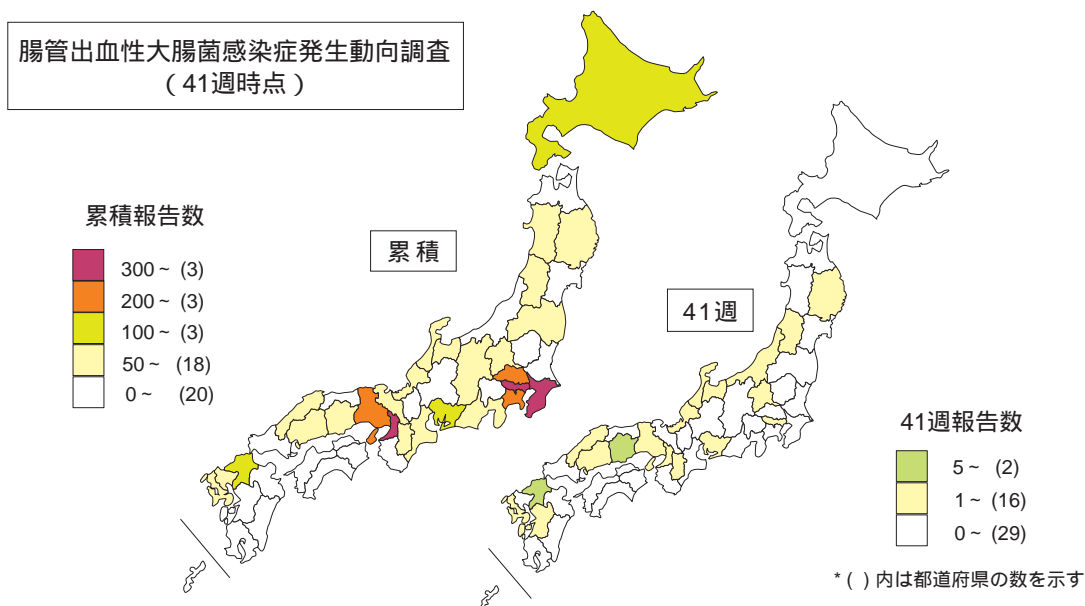


注目すべき感染症

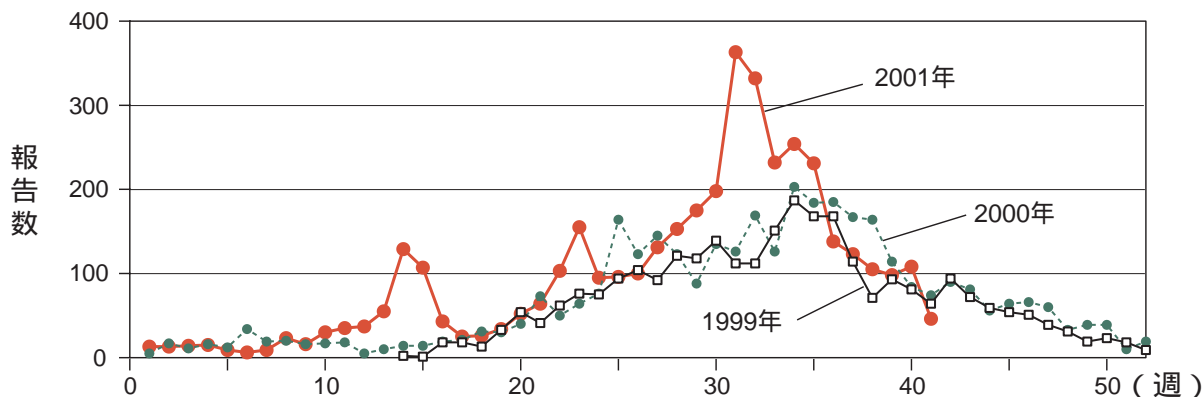
腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年には早期から複数のO157による集団感染事例が発生した影響で、昨年、一昨年に比べ早い時期から報告件数が多くなっている。第41週の報告数は41例で、都道府県別では、福岡県(8例)、岡山県(5例)などの報告が多かった。41例のうち有症者は24例で、重症例(HUS)の報告が1例認められた。

第41週時点での本年の累積報告数は3,978例であり(昨年同期2,980)、都道府県別では千葉県(356例)、大阪府(322例)、東京都(300例)、神奈川県(255例)、兵庫県(250例)、埼玉県(209例)などからの報告が多い。本年度の累積報告数を年齢階級別にみると、0～4歳が最も多く(908例)、次いで5～9歳(557例)、10～14歳(352例)が多くなっている(病原体については8ページを参照)。



腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)発生状況





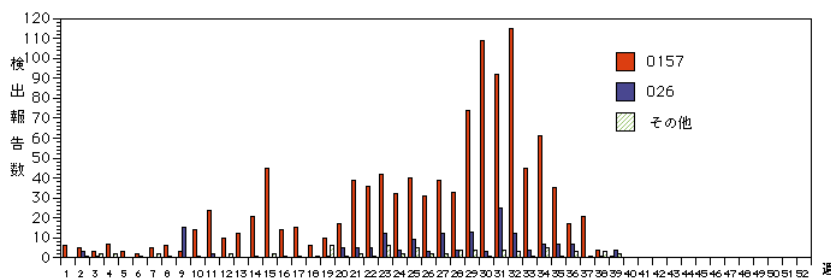
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年10月19日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年

本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が1,094件、O26が170件である。最近では、O157が第39週に1件(福岡県1)、O26が第39週に4件(山形県2、秋田県1、愛媛県1)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年10月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



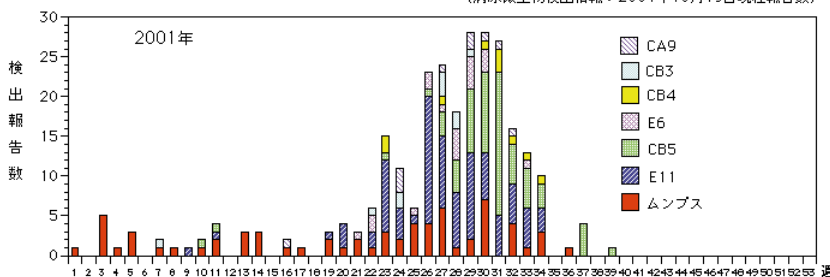
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス44件(東京都12、新潟県7、広島県4、愛媛県4、大阪市3、京都市2、広島市2、香川県2など)、エコーウイルス(E)17件(11型87、6型19、3型3、18型3、25型2、9型1、16型1、21型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)85件(5型63、4型11、3型9、1型2、6型1)、A群コクサッキーウイルス(CA)11件(9型9、4型1、6型1)、エンテロウイルス71型(EV71)1件である。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2001年

(病原微生物検出情報: 2001年10月19日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、CA16が102件(長野県13、愛知県12、愛媛県11、福岡県10、山形県10、埼玉県9、秋田県7、熊本県7など)、EV71が9件(長野県3、愛媛県3、山形県1、東京都1、川崎市1、広島県1)、CA6が12件(島根県7、奈良県4、愛媛県1)、CA4が9件(香川県6、秋田県2、島根県1)、CA8が2件(香川県2)、CA2が1件(長野県1)、CA5が1件(秋田県1)、CA10が1件(島根県1)、CB4が1件(北九州市)、CB5が1件(滋賀県1)、E11が5件(広島市4、熊本市1)である。



保育園における腸管出血性大腸菌O157集団感染 - 兵庫県

兵庫県中・東部S市の某保育園にて、腸管出血性大腸菌(EHEC)O157による小規模な集団感染が発生した。2001年7月下旬の保育園患児発生に伴い、所轄の健康福祉事務所は、在籍園児(89名)・職員(16名)全員、およびその家族(398名)の糞便(8月上旬～半ばに採便)を検索し、園児11名、その家族6名から*Escherichia coli* O157を分離した。初発患者発生前2週間分の給食からは*E. coli* O157は分離されなかった(同事務所)。感染源が給食である可能性は低い。

当所での検索により、上記17株はすべてO157:H7で、VT2産生性であった。同じく12薬剤(ABPC、CTX、KM、GM、SM、TC、TMP、CPFx、FOM、CP、ST、NA)すべてに感性であった。XbaIによる染色体切断産物のパルスフィールド・ゲル電気泳動(PFGE)結果は、園児1名を含む1家族(これをBグループとし、他をAグループとする)由来の3株を除き、すべて同一のパターンを示した。PFGEパターンがA、B両グループ間で大きく異なるため、Bグループ家族の感染は園内の集団感染とは異なるルートによるものと考えられる。

今回の集団感染の感染者の大半は無症状であった(有症5名)。本件は、初発患者発生に伴う検索で、EHEC感染が集団内で高率に広がっていることを探知した1事例であると考える。

兵庫県立衛生研究所微生物部
辻 英高 押部智宏 浜田耕吉

(IASR2001年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

米国の炭疽 - 更新

WHO/CSR 2001年10月21日

10月21日までにCDCは、8名の炭疽確定患者を報告している。内訳は、フロリダ州で2名、ニューヨーク州で3名、ニュージャージー州で2名、ワシントンD.C.で1名である。

最新の情報は以下のウェブサイトを参照されたい。

<http://www.bt.cdc.gov/> または <http://www.cdc.gov/od/oc/media/>

WHO/CSR 10月18日

WHOは、故意の感染症(生物テロなど)に対して警戒を続ける必要があることを強調している。

WHOは、ヒトに有害な病原微生物の故意の使用についての多くの問い合わせを受けてきた。予期しない炭疽事件の報告が初めは米国から、現在は他の所から入ってきている。WHO事務局長のGro Harlem Brundtland博士は、「地方および国の公衆衛生システムは、故意による、あるいは自然に発生した感染症の流行に対する対策を準備している。最近の事例から3つの教訓が得られた。第一に、公衆衛生システムは故意の感染症の疑いに迅速に対応しているということ、第二に、これらのシステムは継続して警戒を行うべきであること、第三に、十分に情報を与えられ、責任を持って行動できる人々がその対応の重要な役割を果たすということである。今日、WHOは炭疽感染疑いの対応に関する改訂したガイドラインを発表する。」と述べた。

炭疽は今まで知られていなかった疾患ではなく、正確で迅速に診断がつけば完全に治癒できる。しかしながら、炭疽にはきわめて重篤な病態が存在し、最も重症な型である吸入による肺炭疽は、空气中に浮遊している芽胞に直接曝露されることによるのみ感染する。肺炭疽はヒトからヒトへ感染しない。

WHO本部の感染症部門の代表者David Heymann博士は、「我々は、すべての国の国民が炭疽の故意の使用に対処する最良の方法を理解することを望んでいる。体調が悪い人は誰でも普通どおりに医師の診察を受けるべきである。直接に炭疽芽胞の曝露を受けたことがなければ、炭疽に罹らないし、心配する必要はない。疑わしい手紙や小包を受け取ったり、発見した人は、通常どおり警察や他の地方当局に届け出るべきである。多くの国では警察や保健当局は検査の準備がなされており、どんな疑わしい小包であろうが、どんなものが入っていようが対処する。」と述べた。

まず医者診察を受けずに、治療や予防のために抗菌薬を使用すべきでないことが重要である。抗菌薬は強力な効果的な手段であるが、適切で賢明に使用されなければならない。誤った抗菌薬の使用は、効果がないばかりでなく、害を引き起こす可能性がある。抗生剤の乱用は薬剤耐性を引き起こし、最も強力な抗菌薬でさえ、治療効果がなくなる。現段階では、炭疽に対する広範囲にわたるワクチン接種は、実行可能な選択肢ではない。

炭疽に関するさらに詳しい情報は、「WHO Guidance on Anthrax (2001年10月18日版)」を参照されたい。

循環しているワクチン由来のポリオウイルスに関連した急性弛緩性麻痺 - フィリピン

MMWR 2001年10月12日

2001年3月15日から7月26日の間に、循環しているワクチン由来のポリオウイルスによる急性弛緩性麻痺患者3例がフィリピンで報告された。1例目はミンダナオ島北部の8歳の小児で、3回の経口ポリオワクチン(OPV)接種を受けていた。麻痺の発症は3月15日であった。2例目はルソン島Laguna州の3歳の小児で、3回のOPV接種を受けていた。髄膜炎症状で7月23日に発症したが、麻痺は呈さなかった。3例目はLaguna州から北に45マイル離れたCavite州の14カ月の小児で、OPV接種を2回受けており、麻痺の発症は7月26日であった。いずれの患者も出生以来、他の地域を旅行したことがない。

患者3例から分離されたウイルスの遺伝子解析の結果、このウイルスはSabinワクチン株1型由来のポリオウイルスで、元のSabinワクチン株1型に比べ3%の遺伝子変異が認められた。3件の分離株は同一ではなかったが、非常に類似していた(塩基配列の相同性99%)。

フィリピンへの旅行者は、自国の予防接種計画に従い、適切なポリオワクチン接種を受けていることを確認すべきである。



感染症の話

細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎(bacterial meningitis)は細菌感染による髄膜炎の総称、すなわち疾患群であるが、通常結核性髄膜炎はこの範疇に含めない。化膿性髄膜炎ともよばれ、ウイルス感染が主体である無菌性髄膜炎と対照をなす。しかし、診断にあたっては、可能な限り病原診断に基づいた診断名であることが望ましい。抗菌薬療法の発達した現代にあっても発症すれば死亡率は高く、また救命できても重篤な後遺症を残すことがあり、特に小児においては侮れない感染症である。

疫学

我が国における細菌性髄膜炎患者の発生状況は、1980年代では年累積定点当たり報告数は1.0人から徐々に減少し、1990年代では0.5人程度で感染症サーベイランス事業ではこの間細菌性髄膜炎の報告単位が週、月、週と変わったり、定点数が変わったりしているため、本疾病の長期的発生状況の変化をどの程度反映できているのかは定かでない。1999年4月施行の感染症法の下における感染症発生動向調査では、0歳台、1～4歳台の報告が多く、それ以降の年齢では減少するが、70歳以上ではまた多くなる。季節に関してはほとんど差異がみられない。原因菌に関しては、1999年4月からの感染症発生動向調査によるとインフルエンザ菌、肺炎球菌の順番になっている。

細菌性髄膜炎の一つである髄膜炎菌性髄膜炎は、アフリカのいわゆる髄膜炎ベルトといわれる、西はセネガルから東はエチオピアまでの地域において多く発生している。そこでは、主にサバナ地帯で乾期(12～6月)に多くみられ、その血清型はほとんどA群である。また、メッカへのイスラム教徒の巡礼、すなわちHajにおいては、帰国してからW135群髄膜炎菌による発症が英国その他のヨーロッパ諸国において問題となっている。髄膜炎菌性髄膜炎はわが国において感染症法で定める4類感染症全数把握疾患であるが、日本ではほとんど見られず、昨年、一昨年の報告では10例を超える程度である。

インフルエンザ菌によるものに関しては、欧米ではtype b、すなわちHibに対するワクチンが使われており、発生数は激減しているが、我が国においては特に小児における細菌性髄膜炎の原因菌として重要である。

病原体

病原体は多種類あるが、年齢や基礎疾患によって特徴があり、年齢に関しては次のようである。

- 新生児～生後3カ月乳児: B群レンサ球菌、大腸菌、黄色ブドウ球菌、リステリア菌
- 生後3カ月以降の乳児～幼児: インフルエンザ菌(ほとんどがtype b、すなわちHib)、肺炎球菌、黄色ブドウ球菌
- 年長児～青年期: 肺炎球菌、インフルエンザ菌、髄膜炎菌
- 成人: 肺炎球菌、髄膜炎菌
- 高齢者(50歳以上): 肺炎球菌、グラム陰性桿菌、リステリア菌

また、免疫能低下の状態では肺炎球菌、緑膿菌などのグラム陰性桿菌、リステリア菌、黄色ブドウ球菌(MRSA)などがみられ、脳室シャント後であれば黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌などが多くみられる。

感染経路は多くの場合飛沫感染であり、原因菌が上気道あるいは呼吸器感染病巣を経由して侵入し、血行性に髄膜に到達する。新生児のB群レンサ球菌感染症の場合には、産道感染も考えられている。その他に、リステリア菌が腸管から侵入したり、粘膜や皮膚に付着している黄色ブドウ球菌や表皮ブドウ球菌が、カテーテルを介して血行性に髄膜に到達することもある。

臨床症状

多くは発熱、頭痛、嘔吐などを示し、進行すると意識障害、痙攣などがみられる。また、そのような経過を明瞭に示さずに敗血症の形を取る場合や、急速に悪化する電撃型もある。年齢が低いほど症状は非特異的であり、新生児や乳児では発熱以外の症状として不機嫌、食欲の低下などが目立つこともある。髄膜刺激症状として項部硬直やKernig徴候などがあるが、新生児・乳児・幼児では必ずしも明瞭ではない。しかしそれらの場合、大泉門の膨隆がみられることも多い。

検査では核の左方移動を伴う白血球数増多がみられ、CRP値は高度の上昇を示す。髄液検査では髄液圧の上昇、主に多形核白血球からなる白血球数の増多、蛋白量の増加、糖量の減少などがみられる。

病原診断

髄液沈査のグラム染色を行い検鏡する。菌の同定は不可能なことが多いが、グラム陽性か陰性か、球菌か桿菌かの区別からある程度の推定はできる。迅速診断として、ラテックス凝集法による抗原診断も実用化されているが、これが対象とするのは肺炎球菌、B群レンサ球菌、Hib、髄膜炎菌A、B、C群、K1抗原陽性大腸菌などである。抗原診断は、抗菌薬療法を開始して培養が陰性の場合などにも有用である。

以上のことで陽性所見が得られても、確定診断のためには細菌培養が必要である。また、血液培養で検出される場合も多い。得られた細菌に関しては、抗菌薬感性試験を行う。

治療・予防

臨床症状、髄液所見などから細菌性髄膜炎の疑いがある場合、あるいは、無菌性髄膜炎様であっても化膿性髄膜炎を否定しきれず、全身状態が重篤な場合などには、細菌学的に確定診断がなされる前から抗菌薬療法を開始する必要がある。その際、年令、基礎疾患、発症状況などを考慮して可能性ある原因菌を想定し、それに合った抗菌薬を経静脈的に投与する。また、抗菌薬の選択には当っては、全国的な耐性菌の動向、所属する医療機関の耐性菌の動向なども考慮する。

抗菌薬療法に際しては、特に肺炎球菌とインフルエンザ菌の場合、耐性の問題が大きい。肺炎球菌の場合、ペニシリン感性であれば結晶ペニシリンGカリウム、アンピシリン、セフトキシムなど、耐性であればパニペナム/ベタミプロン合剤などが勧められる。また、インフルエンザ菌の場合、アンピシリン感性であればアンピシリン、耐性であればセフトキシムを用いる。薬剤感性が不明の段階では、耐性と仮定して治療する。その他、B群レンサ球菌、髄膜炎菌では結晶ペニシリンGカリウム、アンピシリン、セフトキシムなど、リステリア菌ではアンピシリンが選択される。

原因菌が不明の場合の治療としては、アンピシリンとセフトキシムの併用か、パニペナム/ベタミプロン合剤などを選択する。

予防としては感染者からの飛沫感染などを避けることである。国内で唯一市販されているワクチンは、23価の肺炎球菌多糖体ワクチンである。欧米ではHib、髄膜炎菌などのワクチンが認可されている。

感染症法における取り扱い

細菌性髄膜炎は4類感染症定点把握疾患であり、全国約500の基幹病院定点から毎週報告がなされている。報告のための基準は、以下の通りになっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の2つの基準を全て満たすもの

1. 以下の臨床症状を呈するもの

- ・発熱、頭痛、嘔吐を主な特徴とする
- ・項部硬直、Kernig徴候、Brudzinski徴候などの髄膜刺激症状(いずれも新生児や乳児などでは臨床症状が明らかではないことが多い)

2. 以下の検査所見を有すること

- ・髄液細胞数の増加(多核球優位であることが多い)
- ・髄液蛋白量の増加

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

【備考】

・原因となる病原体が病原体診断や血清学的診断によって判明した場合には、病原体の名称についても併せて報告すること

髄膜炎菌性髄膜炎の場合は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。

(国立感染症研究所感染症情報センター)



読者のコーナー

お知らせ

厚生労働省、国立感染症研究所感染症情報センターは「感染症発生動向調査事業年報平成11年4月～平成12年12月(CD-ROM版データ集)」を発行し、関係者に御利用頂いております。しかしながら最近、全数疾患の報告データの一部が反映されてないことが解りました。また、これには当初からのシステムに問題があることも解りました。反映されていない報告は合計200件ほどです。当センターとしては、今後はこの問題が解決される様、必要な予算措置に努力するとともに、次回の発行の時には、修正したデータを再度入れて配付する様にしたいと思います。関係各位の御理解をお願いします。

(国立感染症研究所感染症情報センター)

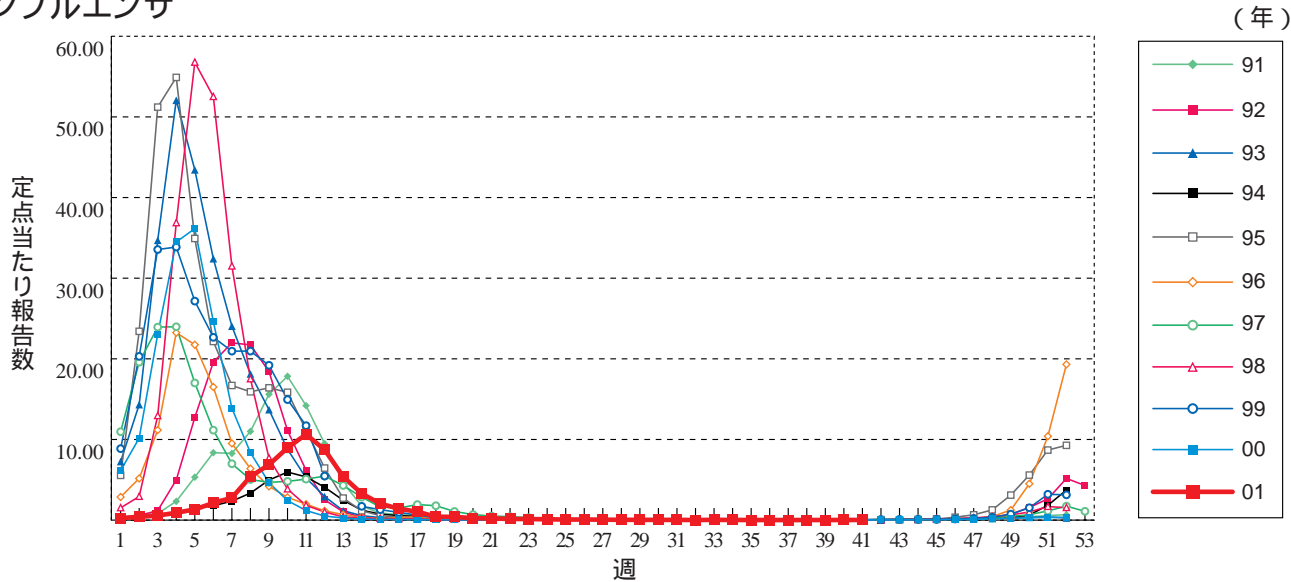
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsc-query@nih.go.jp

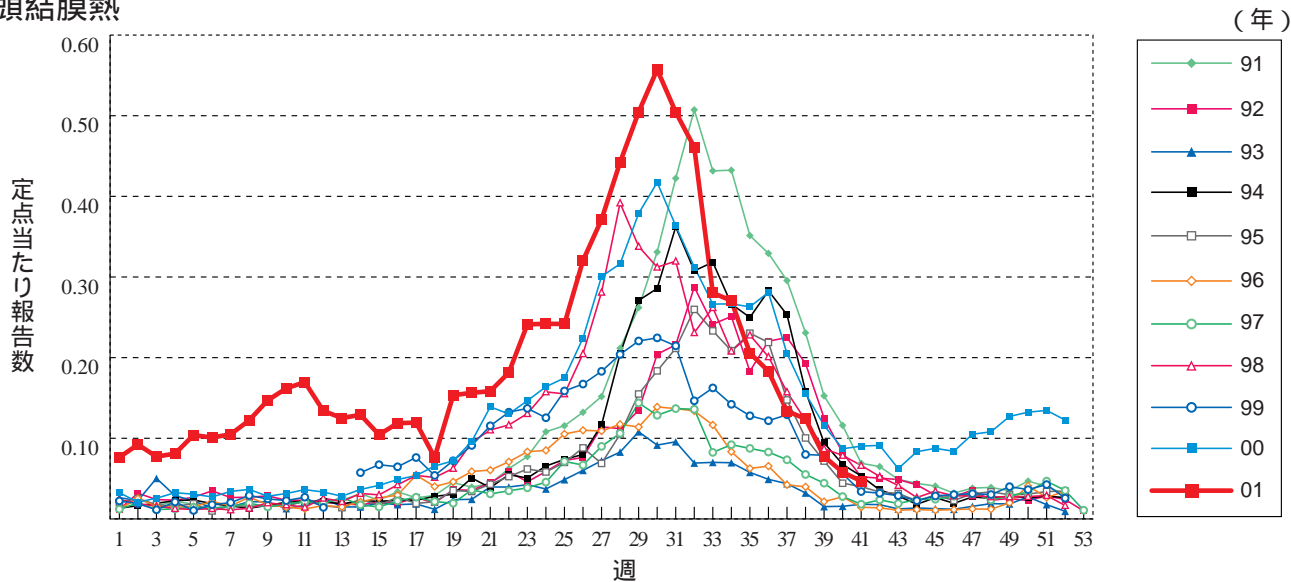


グラフ総覧(41週)

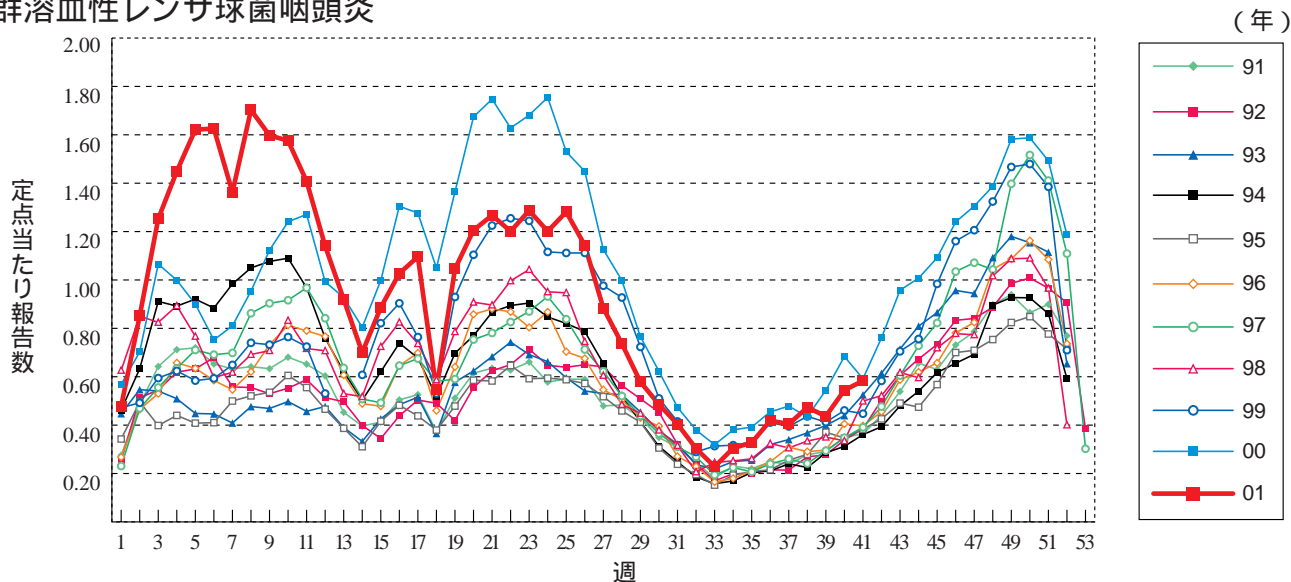
インフルエンザ



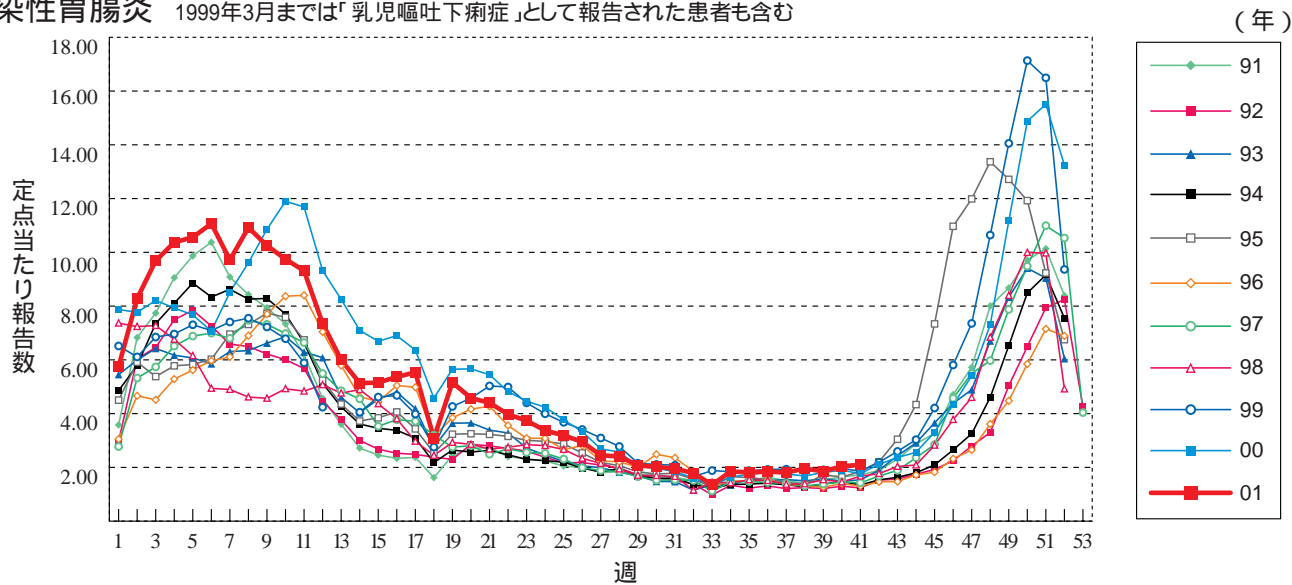
咽頭結膜熱



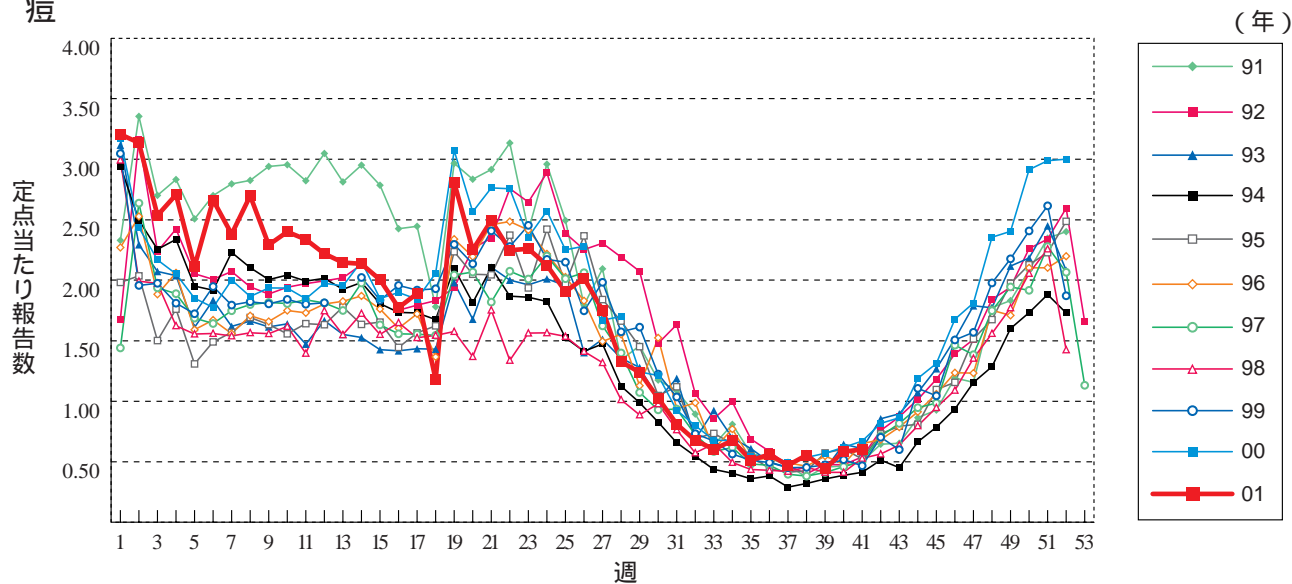
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



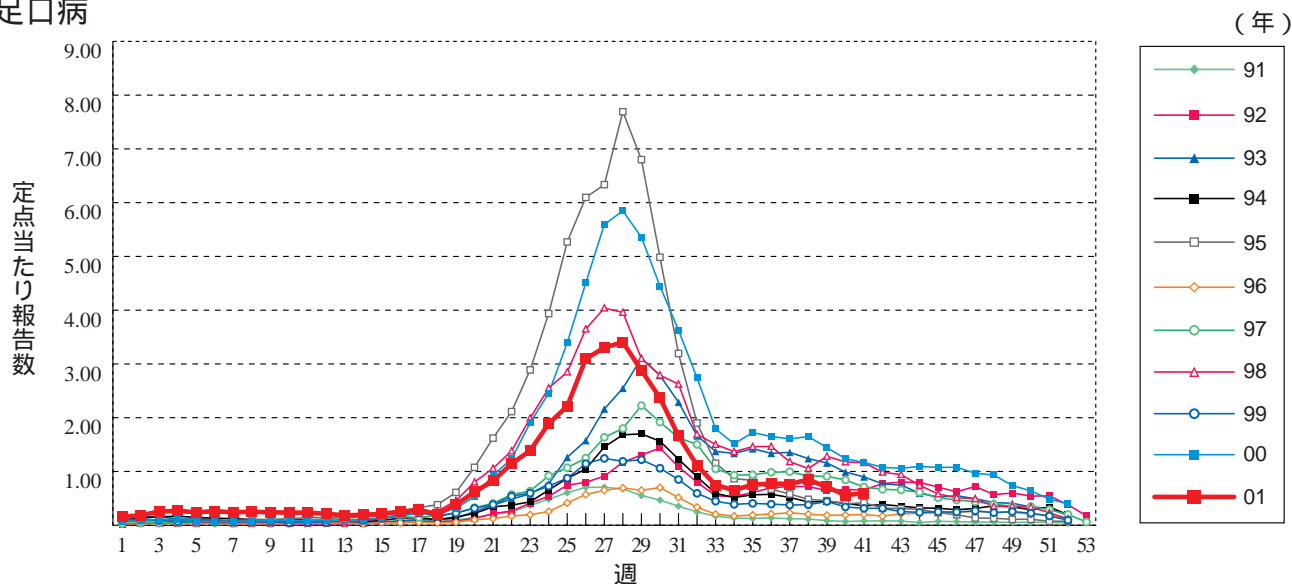
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



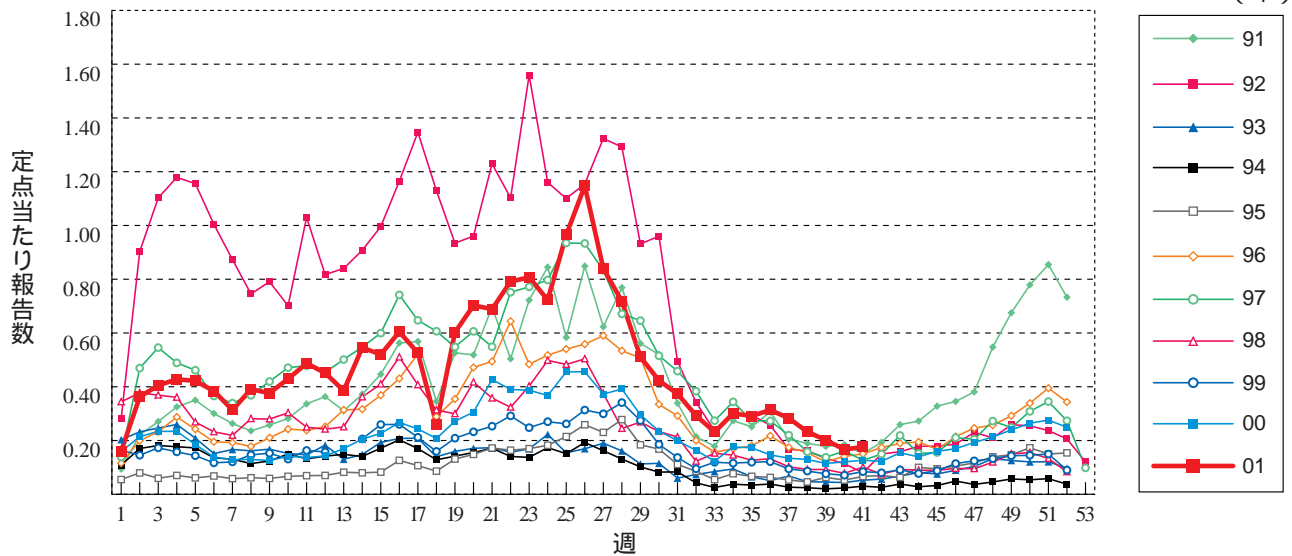
水痘



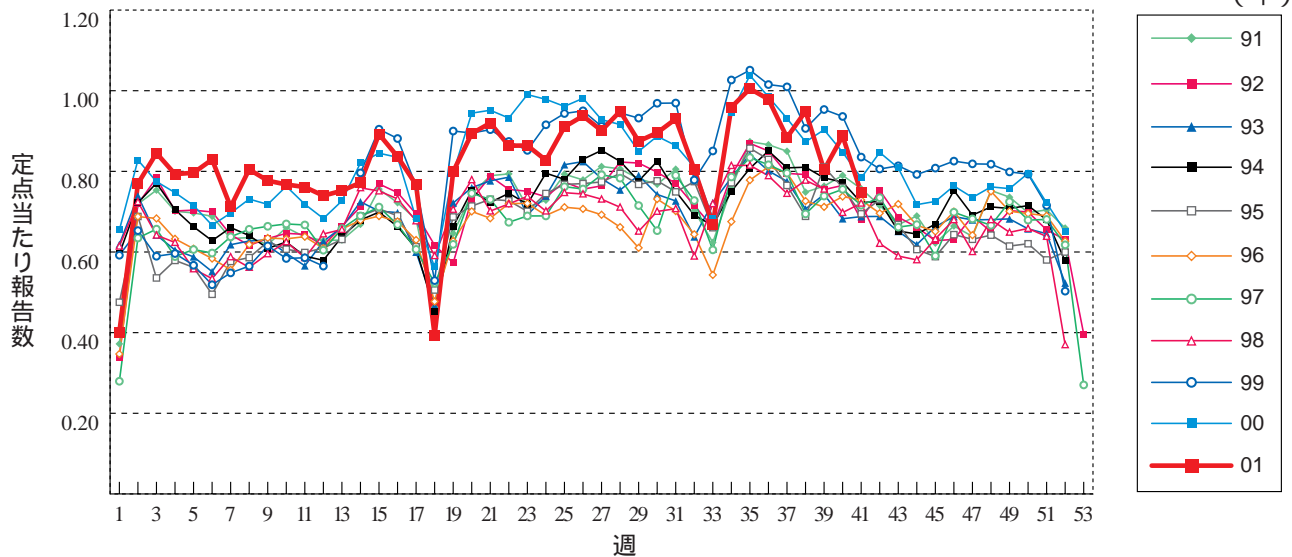
手足口病



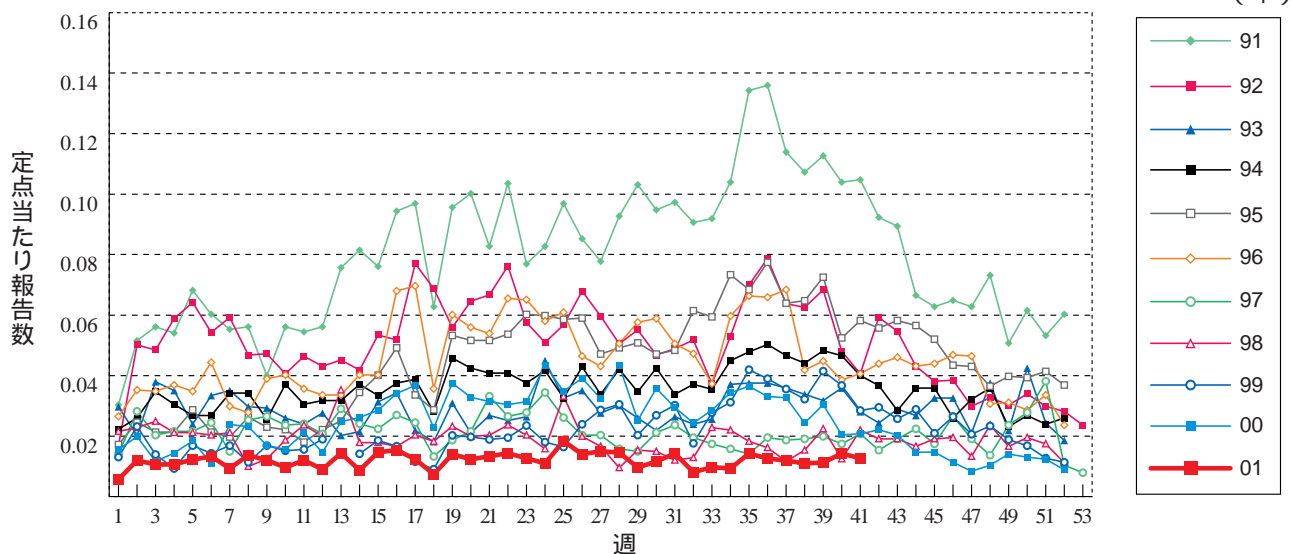
伝染性紅斑



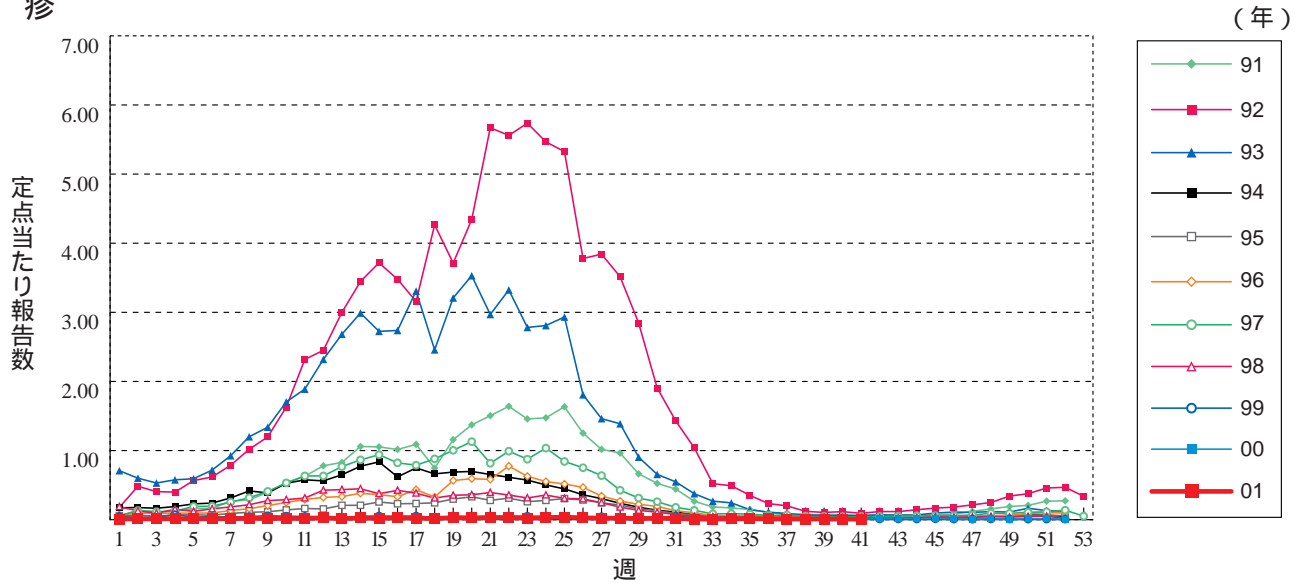
突発性発疹



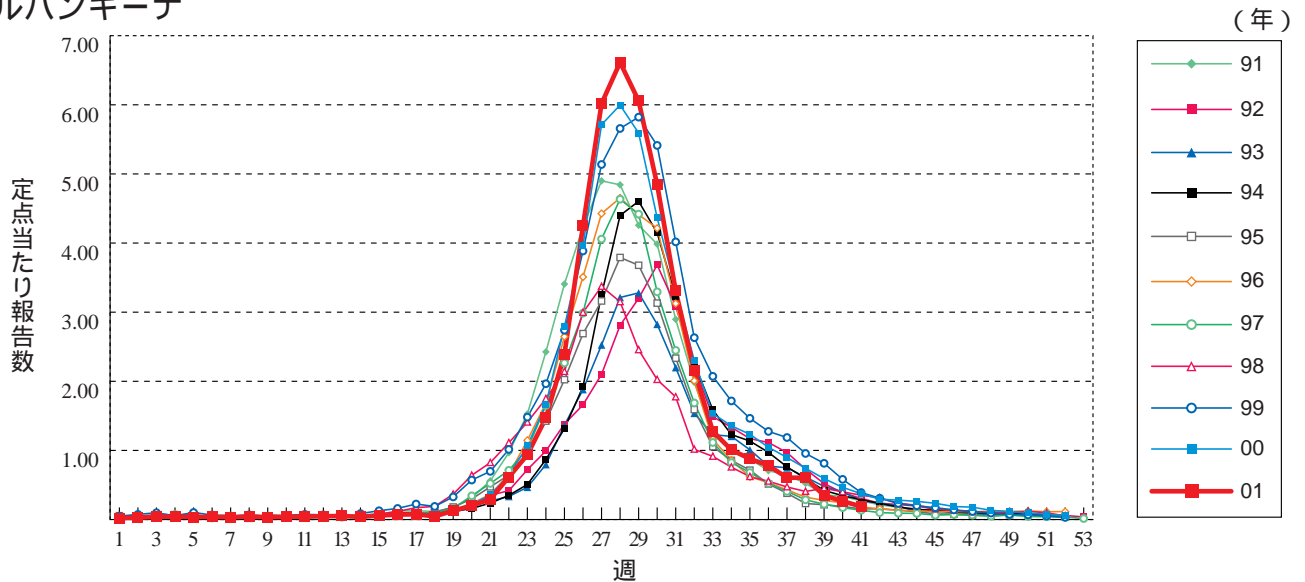
百日咳



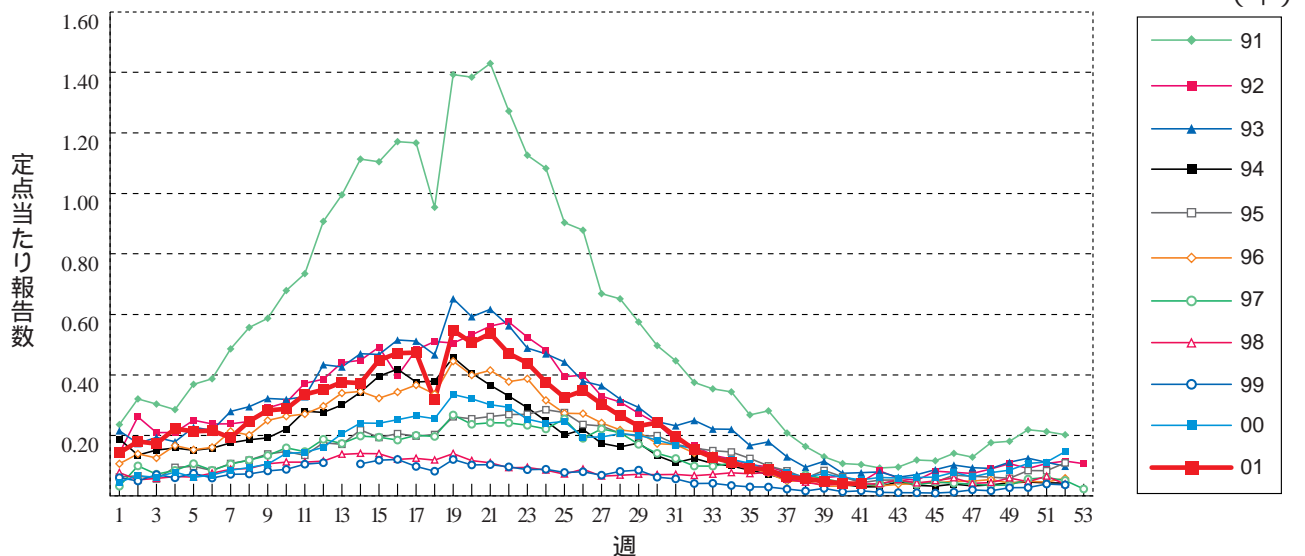
風 疹



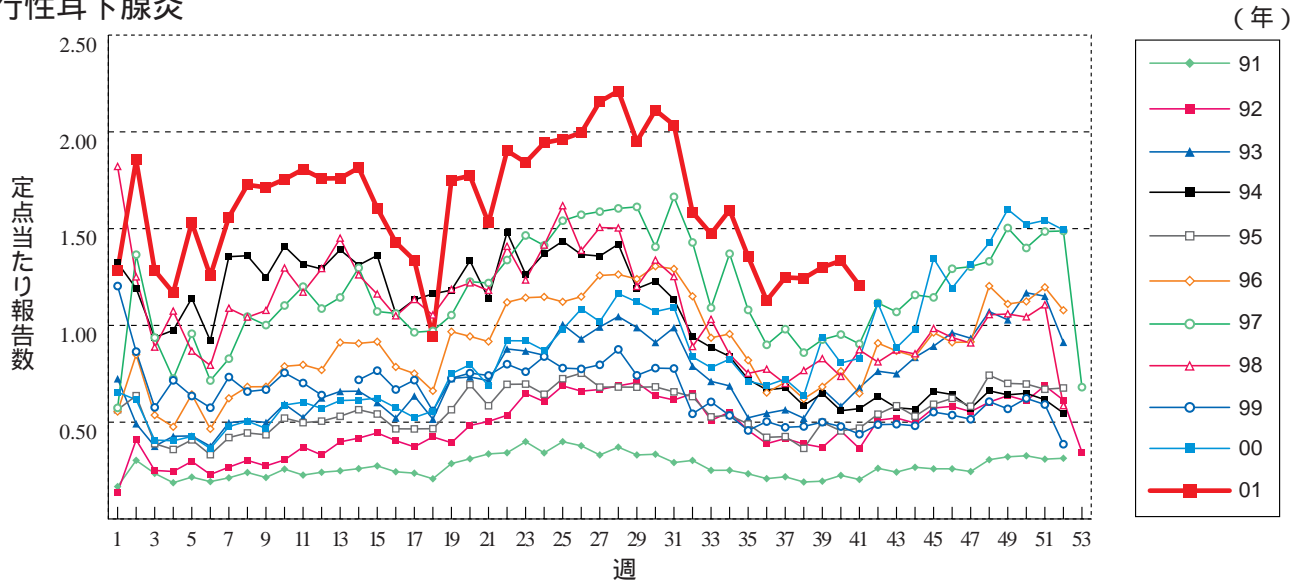
ヘルパンギーナ



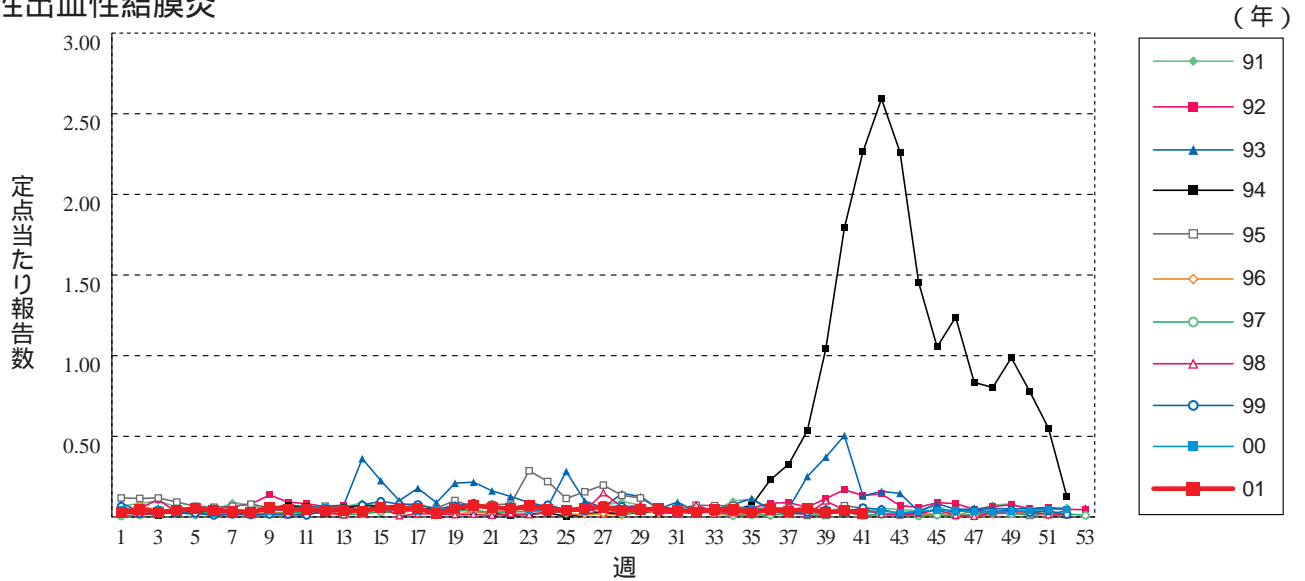
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



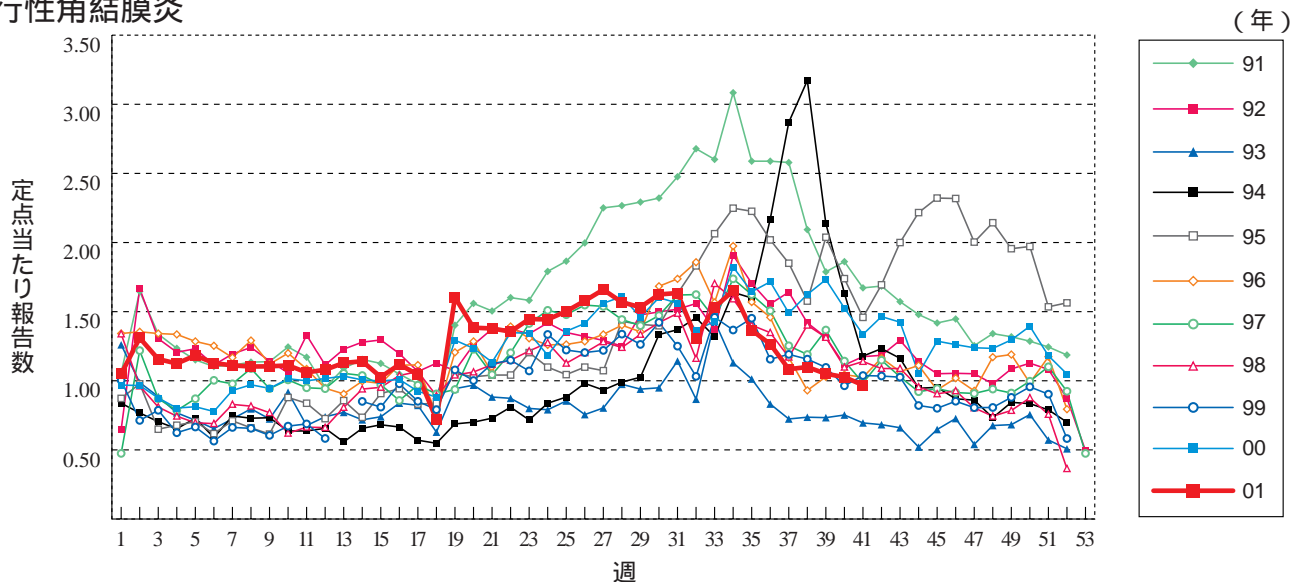
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

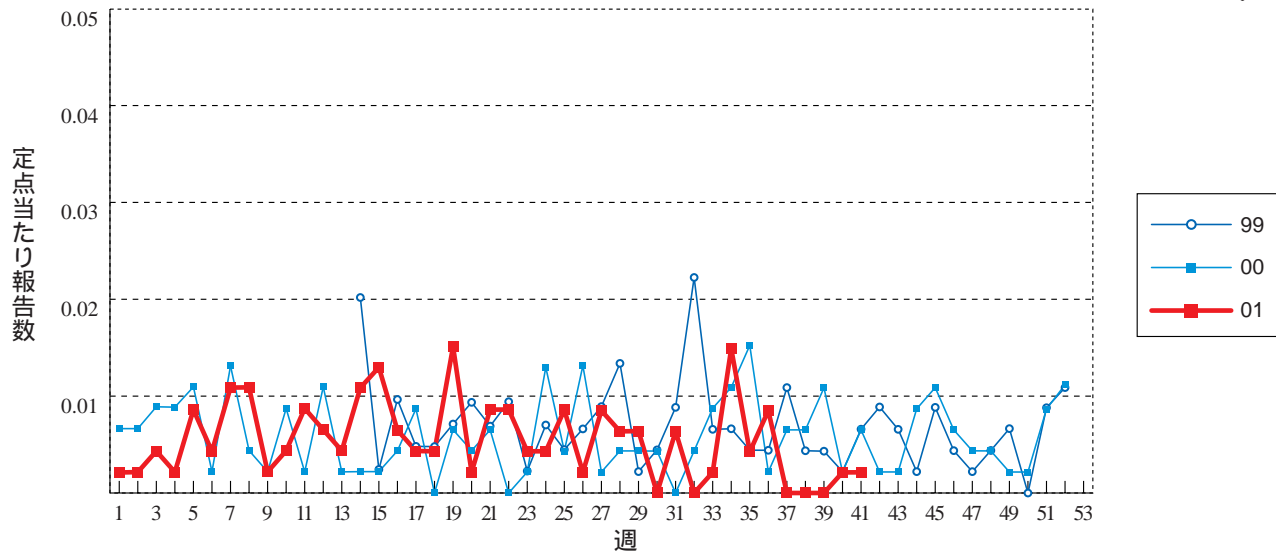


流行性角結膜炎



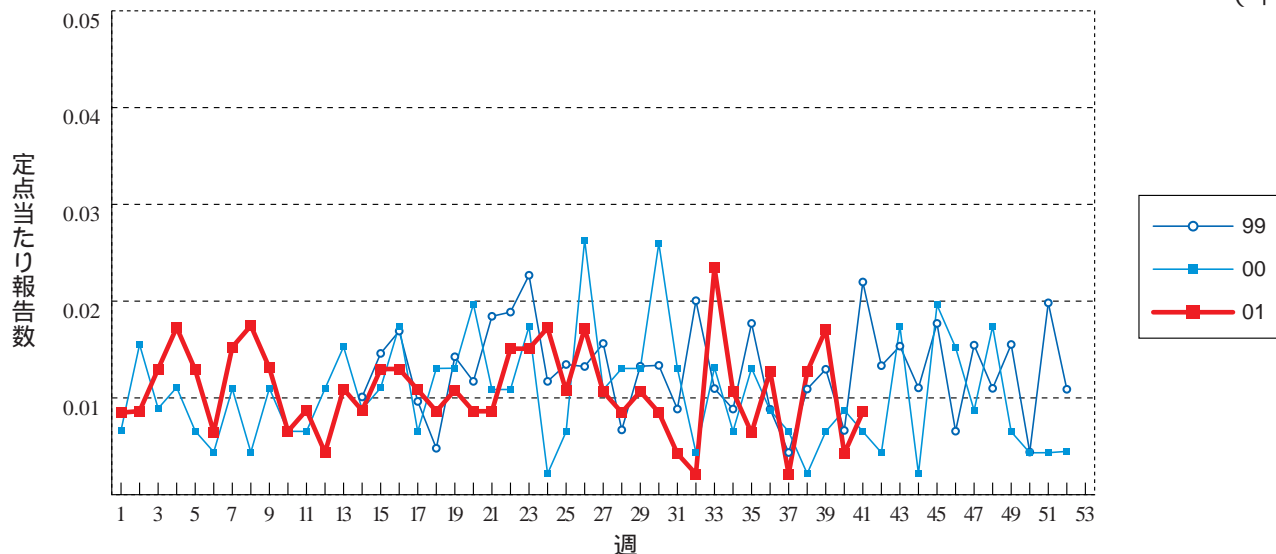
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



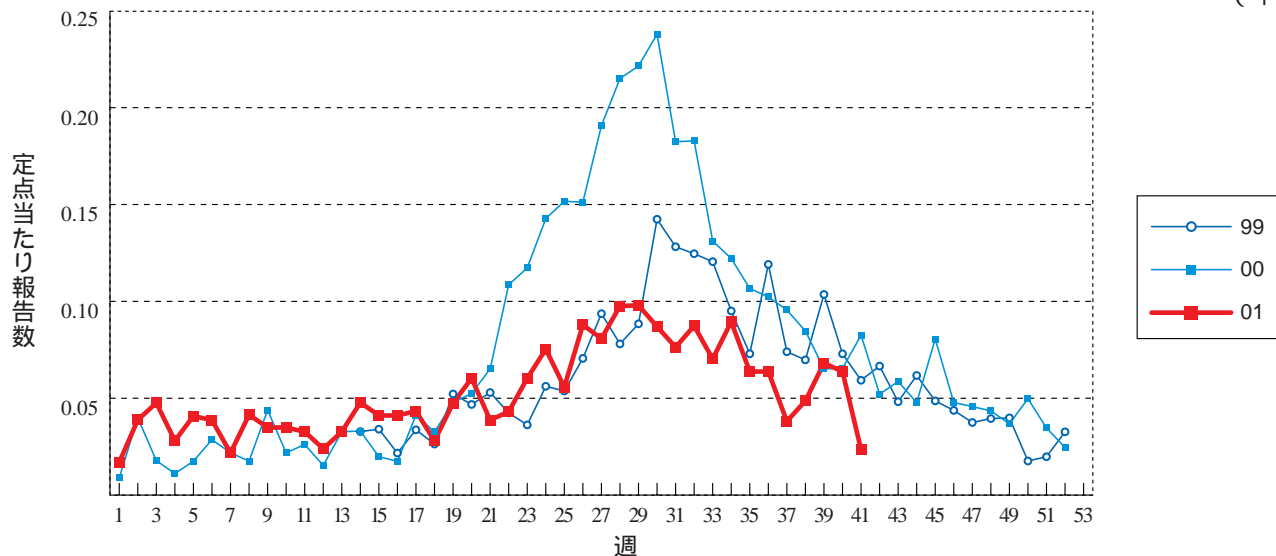
細菌性髄膜炎

(年)



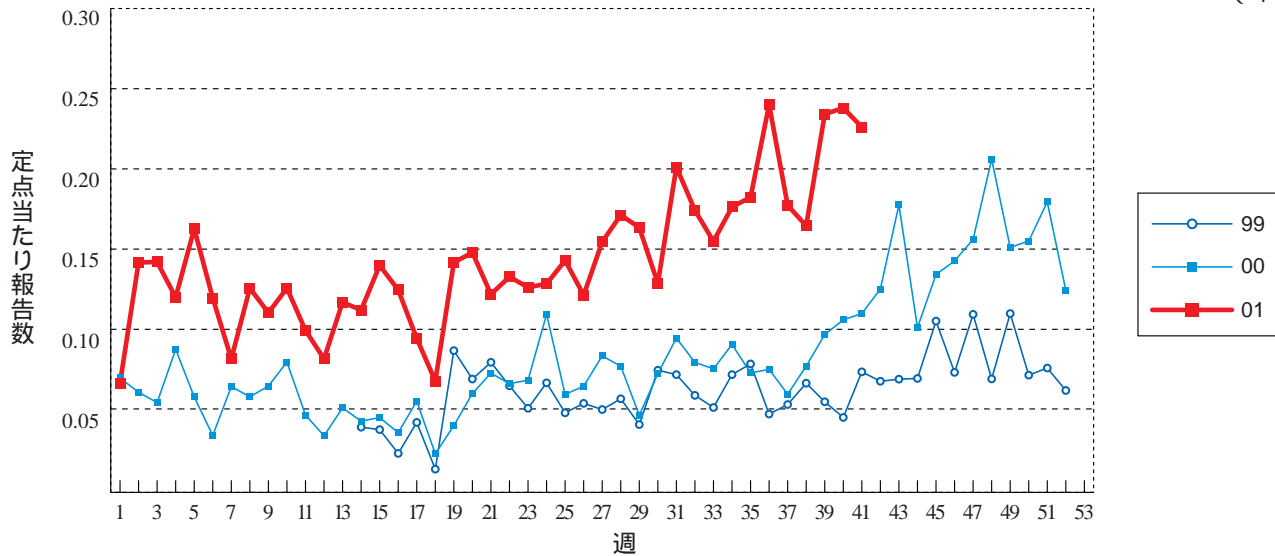
無菌性髄膜炎

(年)



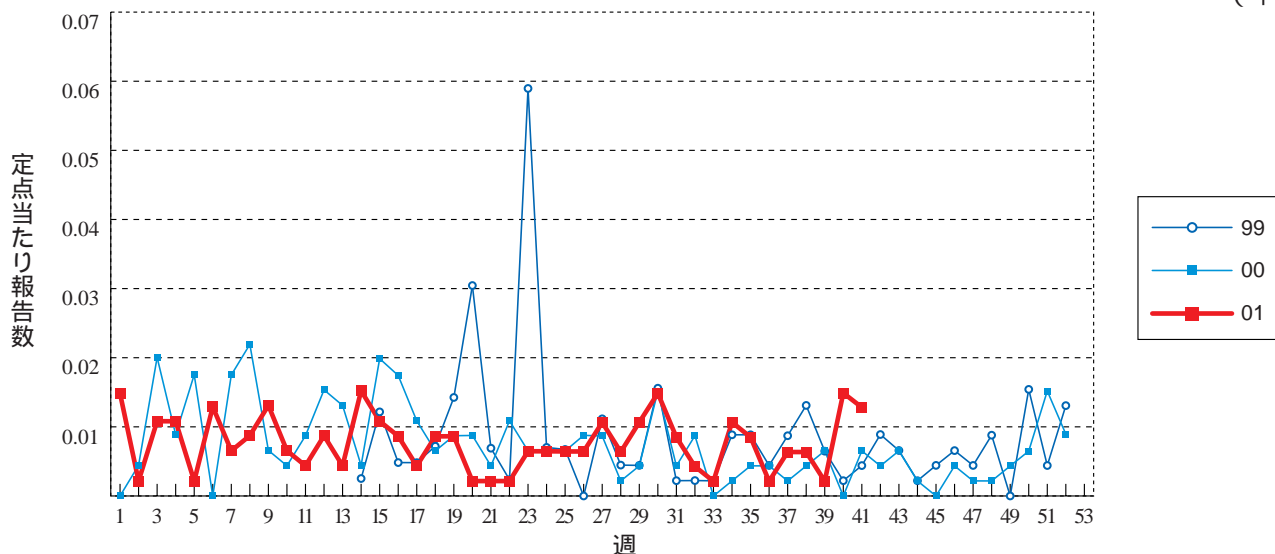
マイコプラズマ肺炎

(年)



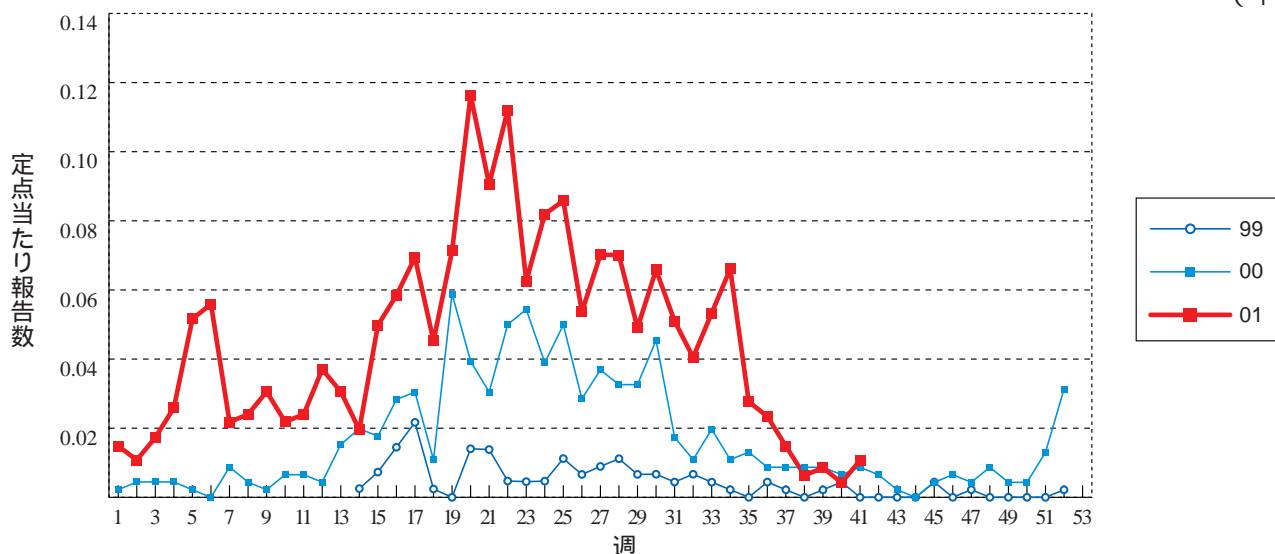
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

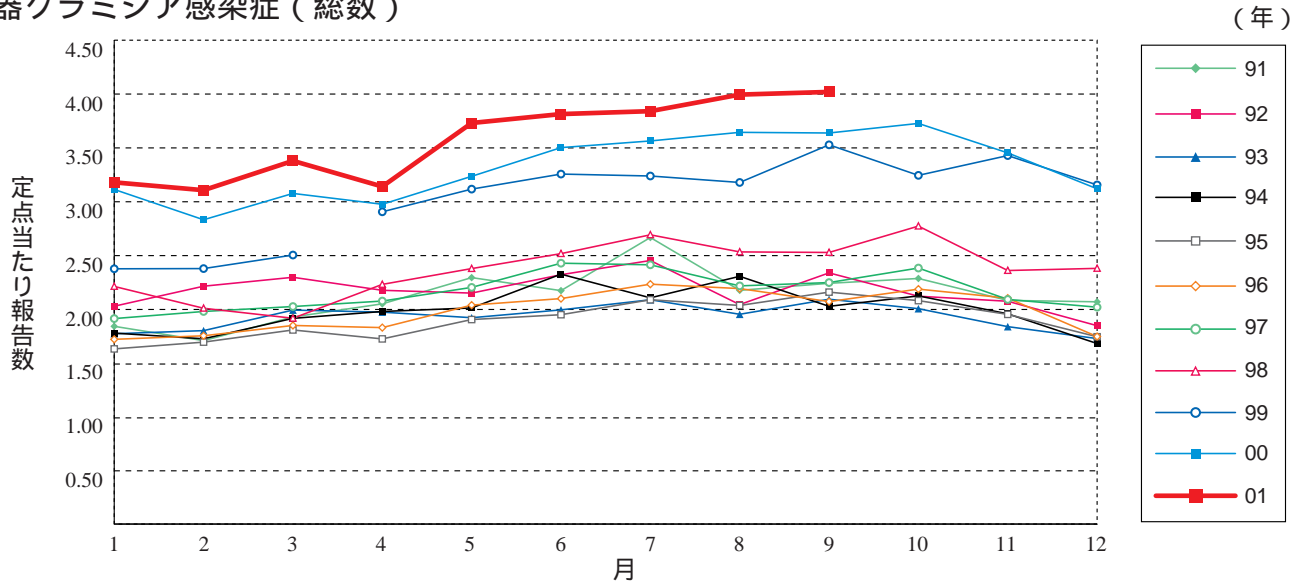




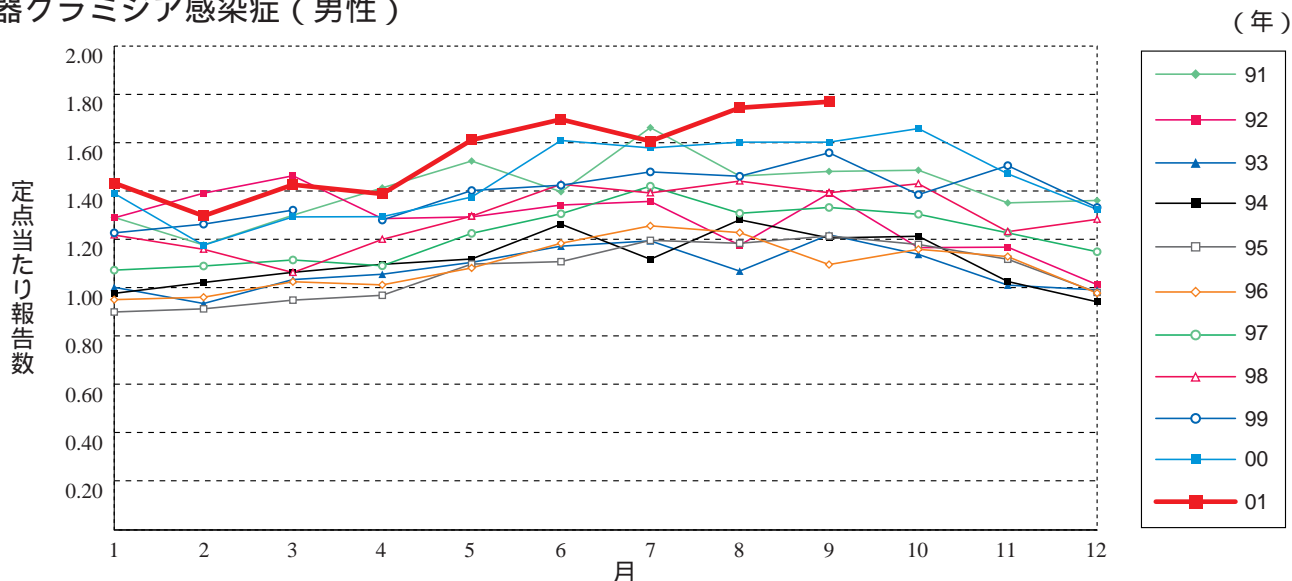
グラフ総覧(9月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

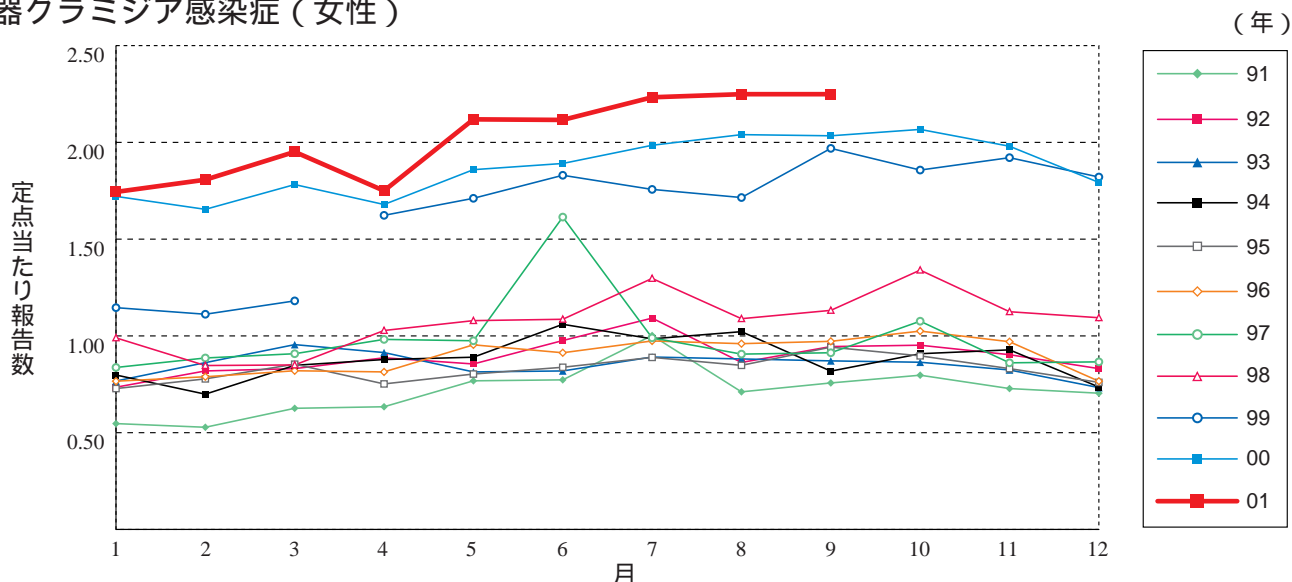
性器クラミジア感染症(総数)



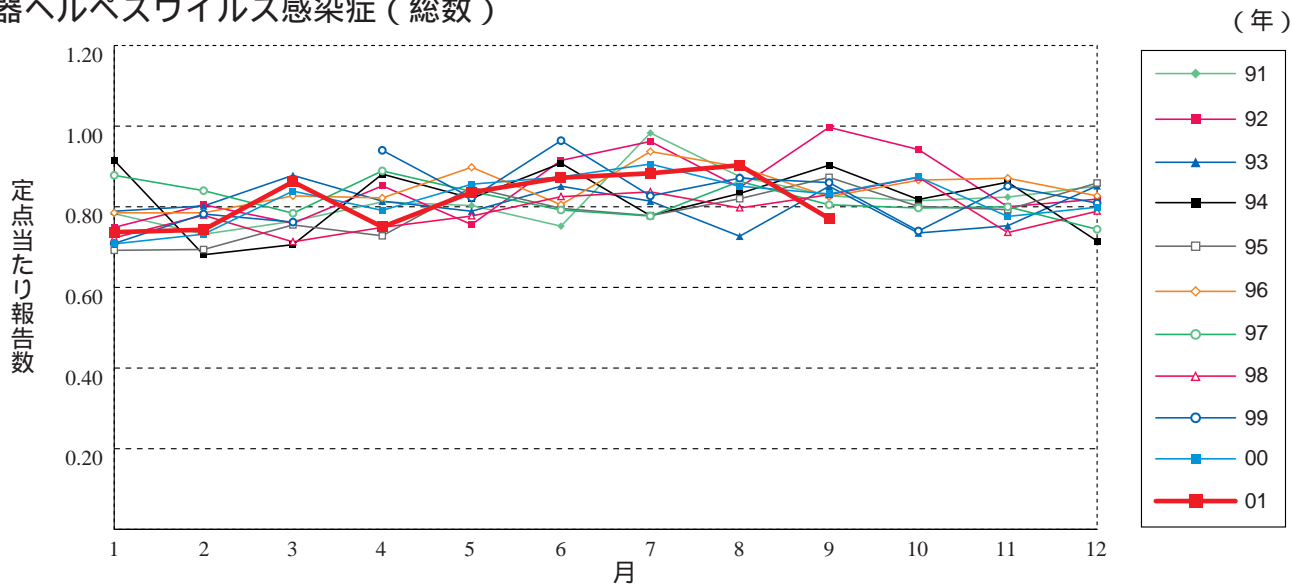
性器クラミジア感染症(男性)



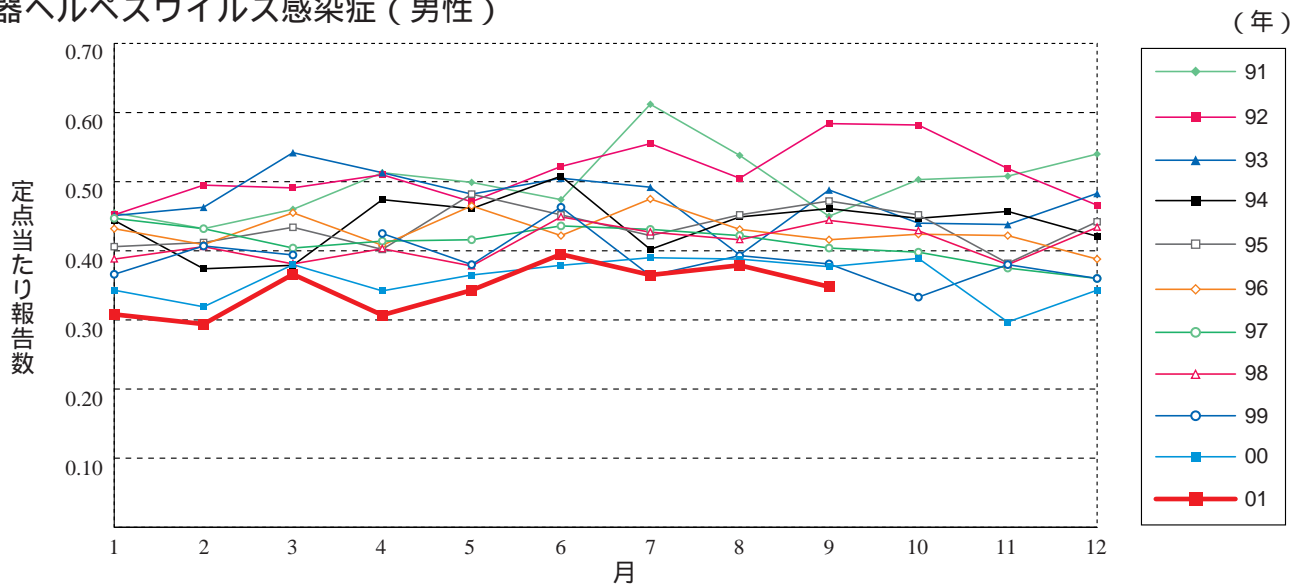
性器クラミジア感染症(女性)



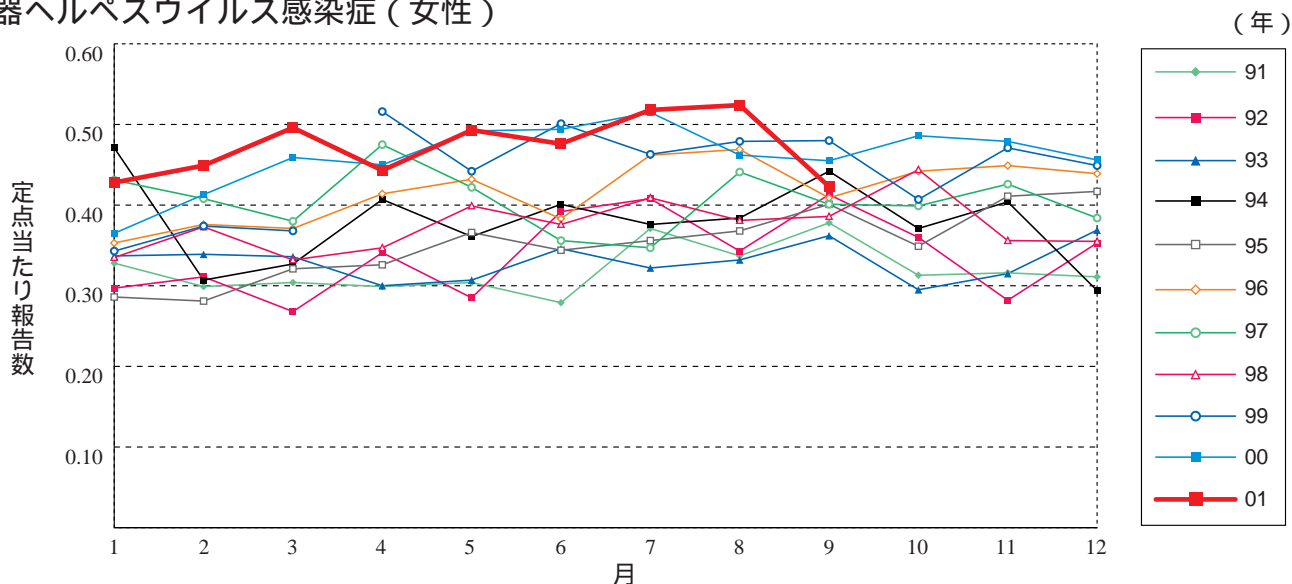
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



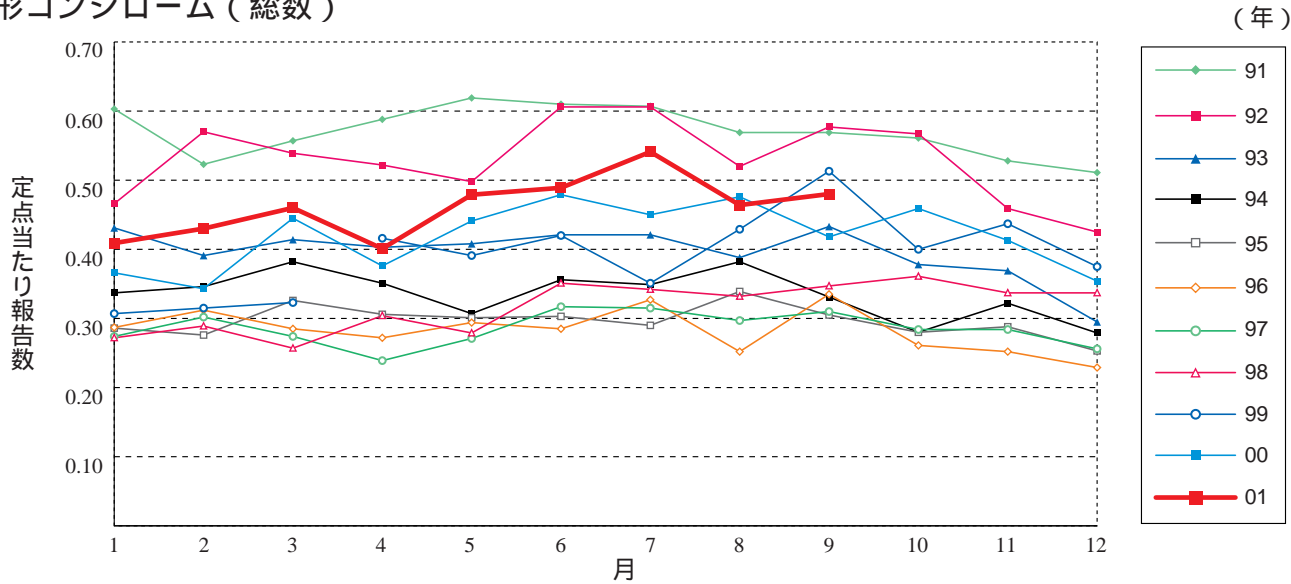
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



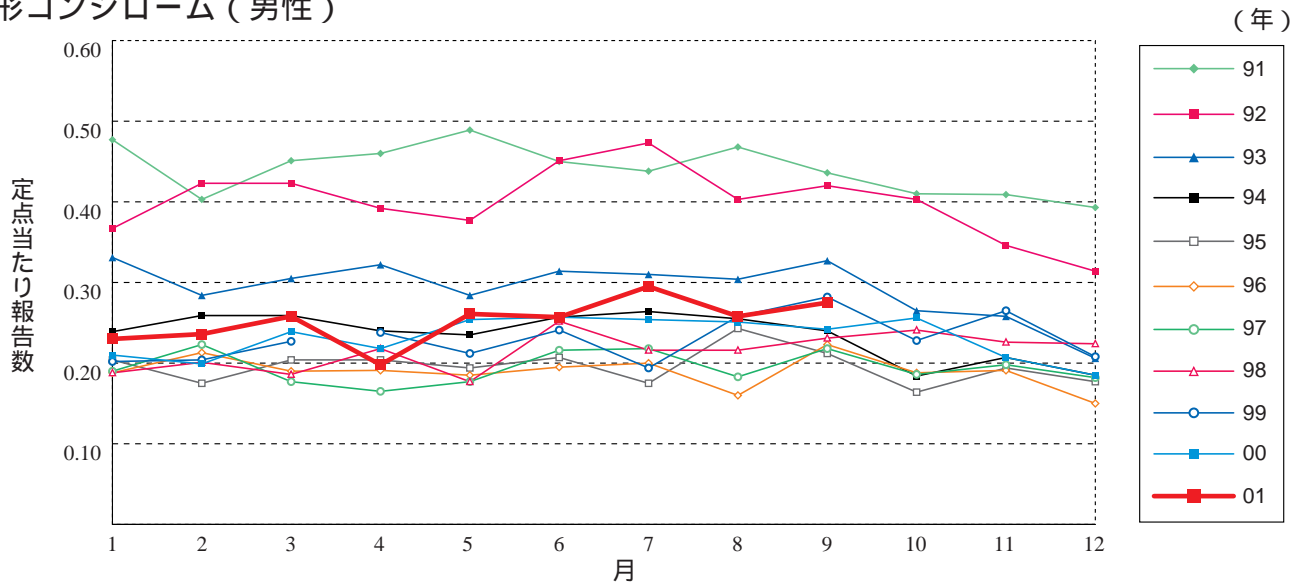
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



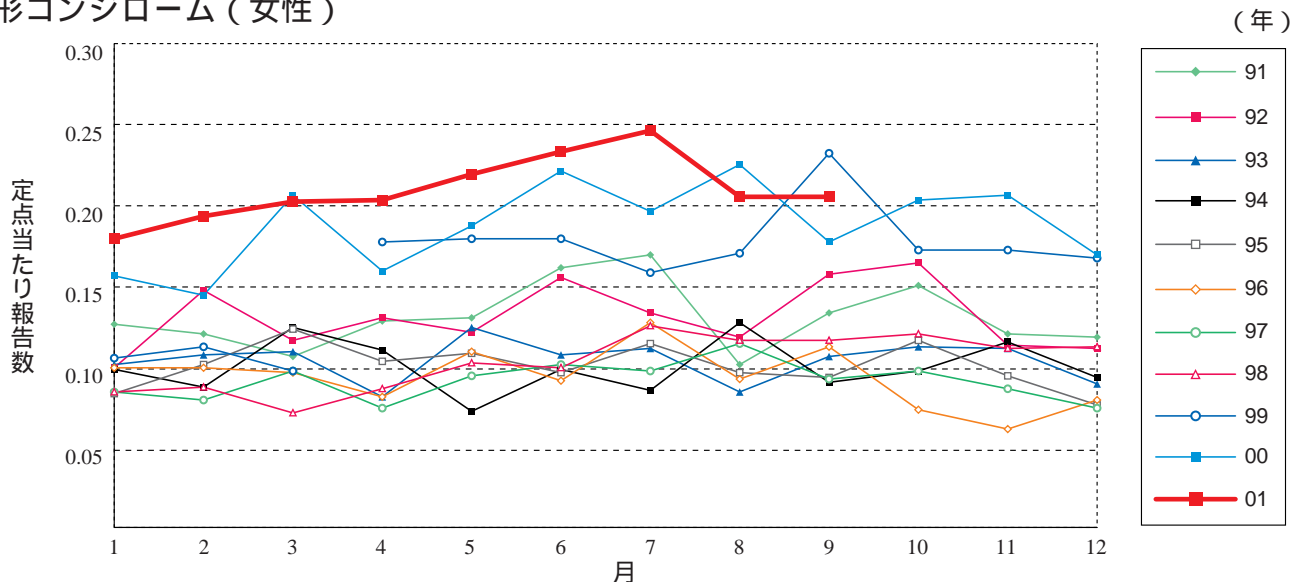
尖形コンジローム (総数)



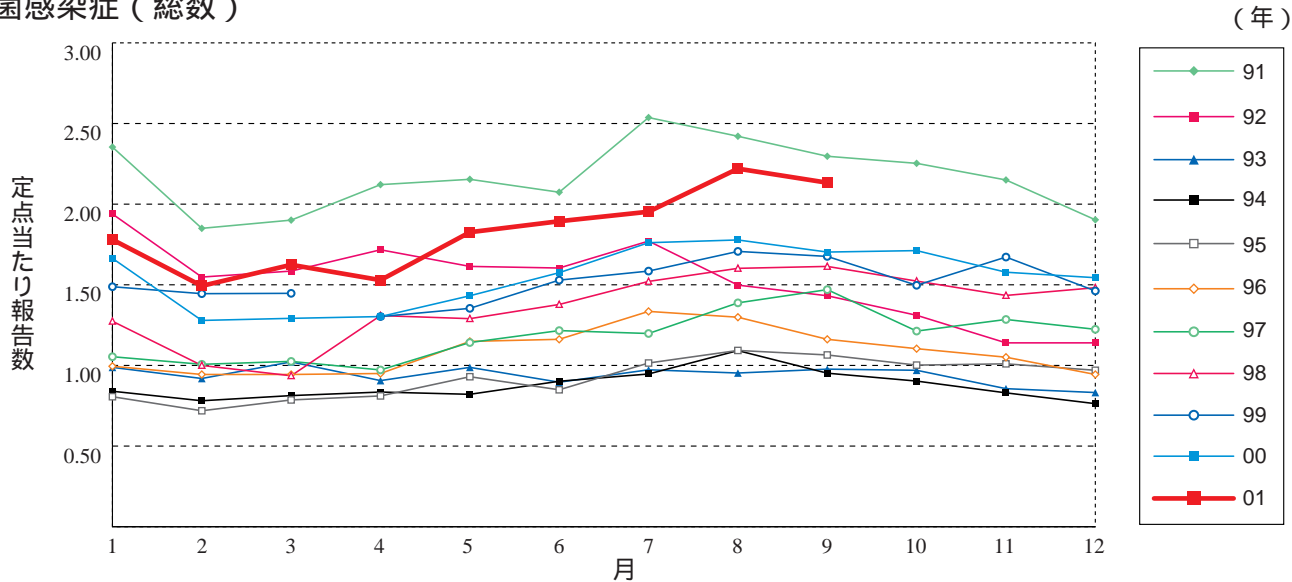
尖形コンジローム (男性)



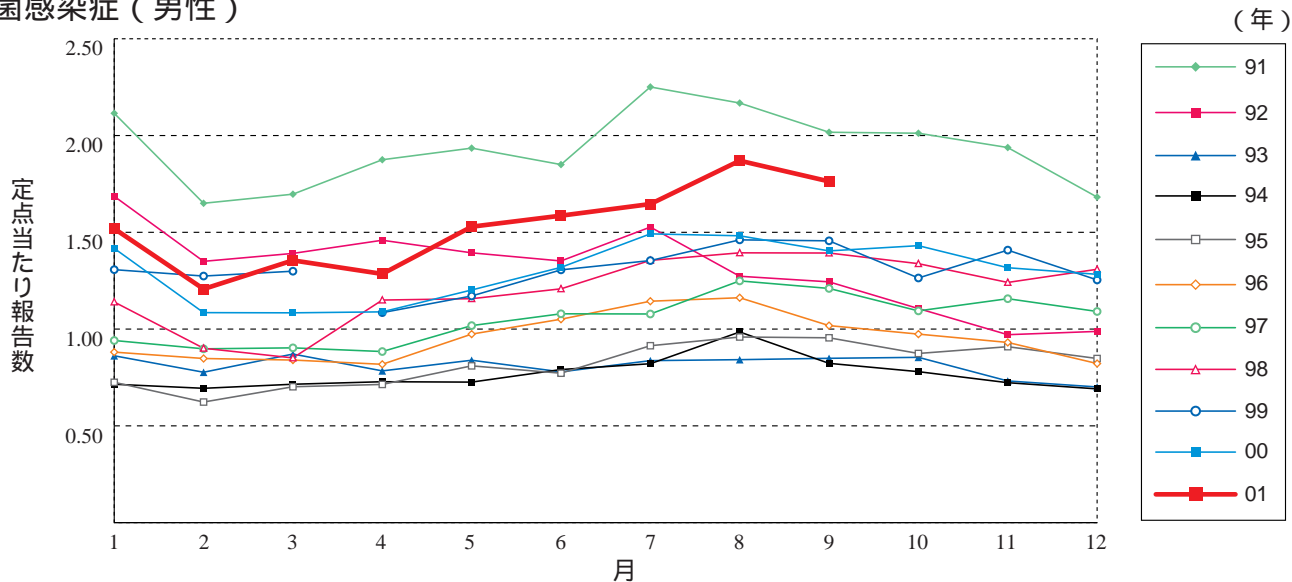
尖形コンジローム (女性)



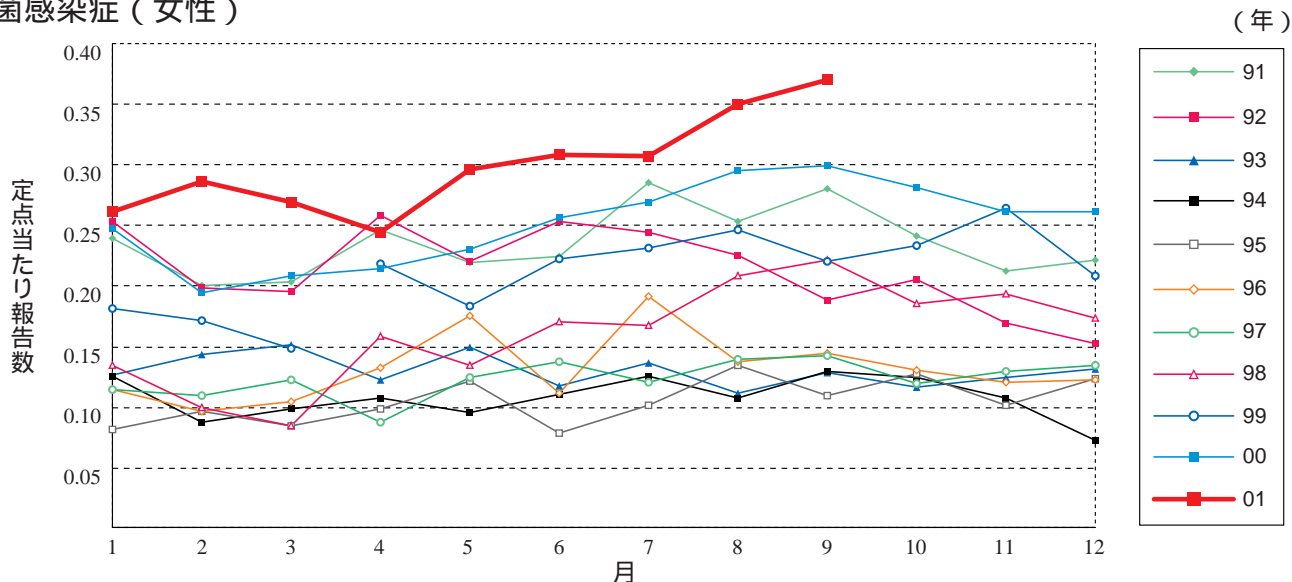
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

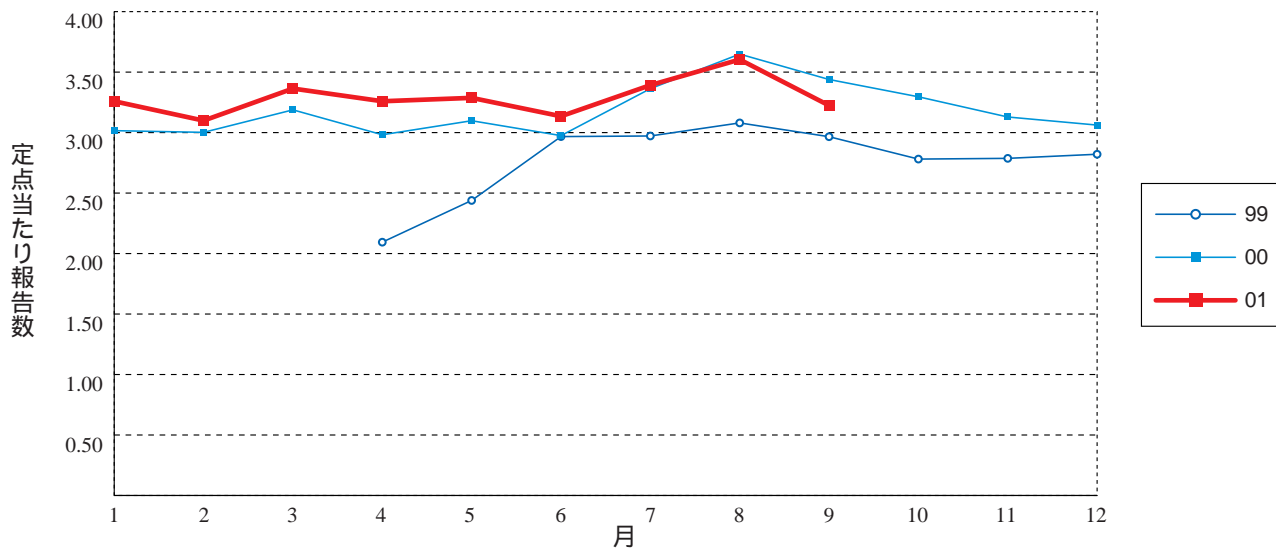


淋菌感染症 (女性)



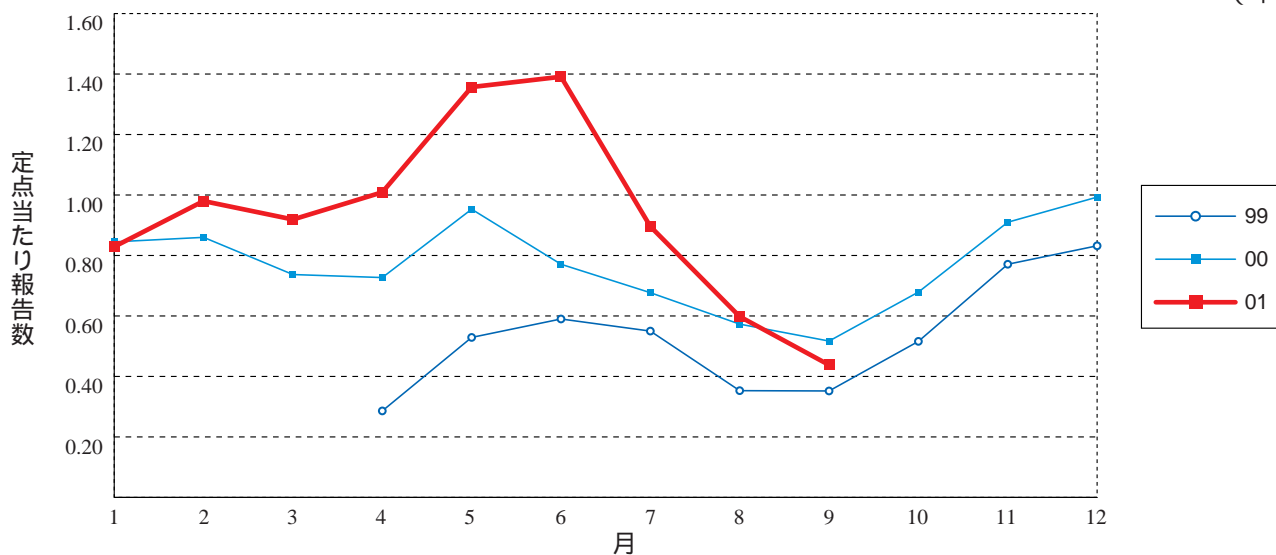
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



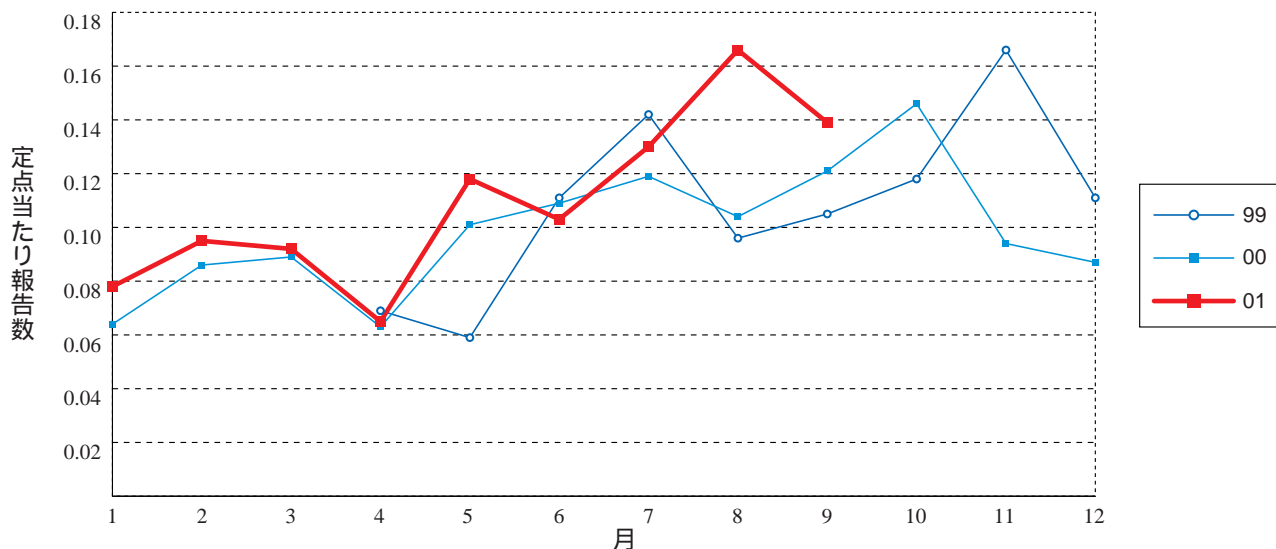
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





9月のデータ

注)表中の報告数は10月9日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成13年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3649	4.02	700	0.77	436	0.48	1937	2.13	1457	3.22	198	0.44	63	0.14
北海道	218	5.07	28	0.65	8	0.19	77	1.79	29	1.26	2	0.09	3	0.13
青森県	34	2.83	4	0.33	4	0.33	12	1.00	15	2.50	-	-	-	-
岩手県	60	4.62	12	0.92	10	0.77	19	1.46	32	1.60	-	-	3	0.15
宮城県	119	6.61	19	1.06	15	0.83	64	3.56	78	6.50	11	0.92	3	0.25
秋田県	22	1.57	2	0.14	3	0.21	3	0.21	14	1.75	3	0.38	-	-
山形県	45	4.50	1	0.10	-	-	15	1.50	38	3.80	10	1.00	1	0.10
福島県	43	2.69	8	0.50	10	0.63	48	3.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	111	6.53	9	0.53	7	0.41	44	2.59	16	1.78	-	-	-	-
栃木県	77	4.81	1	0.06	3	0.19	50	3.13	19	2.71	-	-	-	-
群馬県	132	5.28	5	0.20	7	0.28	45	1.80	43	4.30	-	-	-	-
埼玉県	165	3.24	17	0.33	20	0.39	64	1.25	39	4.33	1	0.11	1	0.11
千葉県	147	3.77	29	0.74	22	0.56	41	1.05	34	3.78	26	2.89	-	-
東京都	236	5.90	86	2.15	48	1.20	134	3.35	108	6.00	10	0.56	14	0.78
神奈川県	137	2.28	20	0.33	9	0.15	84	1.40	30	2.73	6	0.55	-	-
新潟県	63	3.32	9	0.47	10	0.53	49	2.58	36	2.77	2	0.15	-	-
富山県	22	3.14	8	1.14	4	0.57	11	1.57	35	7.00	3	0.60	-	-
石川県	18	1.80	3	0.30	1	0.10	10	1.00	15	3.00	4	0.80	-	-
福井県	22	4.40	3	0.60	2	0.40	8	1.60	20	3.33	5	0.83	1	0.17
山梨県	21	3.50	1	0.17	2	0.33	10	1.67	15	1.88	13	1.63	1	0.13
長野県	65	4.06	17	1.06	11	0.69	24	1.50	28	2.55	2	0.18	-	-
岐阜県	29	1.93	12	0.80	4	0.27	23	1.53	11	2.20	-	-	-	-
静岡県	106	3.53	12	0.40	12	0.40	35	1.17	40	4.00	4	0.40	-	-
愛知県	254	4.98	30	0.59	32	0.63	165	3.24	40	3.08	-	-	-	-
三重県	40	3.08	7	0.54	7	0.54	20	1.54	39	4.88	3	0.38	-	-
滋賀県	17	1.89	1	0.11	1	0.11	9	1.00	24	3.43	-	-	2	0.29
京都府	51	2.43	14	0.67	8	0.38	13	0.62	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	303	5.14	143	2.42	56	0.95	261	4.42	43	4.78	4	0.44	1	0.11
兵庫県	141	3.07	28	0.61	14	0.30	65	1.41	26	1.86	1	0.07	1	0.07
奈良県	24	2.67	3	0.33	4	0.44	33	3.67	28	4.67	5	0.83	1	0.17
和歌山県	10	1.25	9	1.13	1	0.13	11	1.38	25	2.50	1	0.10	4	0.40
鳥取県	16	3.20	-	-	1	0.20	4	0.80	17	3.40	1	0.20	-	-
島根県	7	1.17	1	0.17	3	0.50	8	1.33	31	3.88	3	0.38	-	-
岡山県	123	7.24	12	0.71	7	0.41	68	4.00	10	2.00	-	-	2	0.40
広島県	72	2.77	15	0.58	8	0.31	34	1.31	115	5.48	41	1.95	6	0.29
山口県	56	4.67	8	0.67	7	0.58	31	2.58	53	7.57	5	0.71	8	1.14
徳島県	4	0.67	4	0.67	5	0.83	2	0.33	12	1.71	-	-	-	-
香川県	49	5.44	3	0.33	4	0.44	15	1.67	16	3.20	2	0.40	-	-
愛媛県	44	4.00	2	0.18	3	0.27	10	0.91	4	0.67	2	0.33	-	-
高知県	7	1.17	1	0.17	-	-	6	1.00	76	9.50	10	1.25	8	1.00
福岡県	215	6.32	43	1.26	22	0.65	134	3.94	27	1.59	-	-	-	-
佐賀県	37	5.29	10	1.43	1	0.14	26	3.71	27	4.50	1	0.17	-	-
長崎県	21	2.63	18	2.25	6	0.75	15	1.88	1	0.10	-	-	-	-
熊本県	103	7.36	21	1.50	22	1.57	40	2.86	45	3.00	3	0.20	-	-
大分県	11	1.10	8	0.80	1	0.10	9	0.90	28	2.80	5	0.50	1	0.10
宮崎県	69	6.27	3	0.27	-	-	26	2.36	19	2.71	2	0.29	2	0.29
鹿児島県	50	3.13	9	0.56	10	0.63	49	3.06	19	1.58	-	-	-	-
沖縄県	33	2.75	1	0.08	1	0.08	13	1.08	34	4.86	7	1.00	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成13年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1607	1.77	316	0.35	250	0.28	1601	1.76	932	2.06	119	0.26	41	0.09
北海道	53	1.23	10	0.23	6	0.14	64	1.49	21	0.91	-	-	1	0.04
青森県	9	0.75	4	0.33	1	0.08	6	0.50	11	1.83	-	-	-	-
岩手県	25	1.92	6	0.46	5	0.38	14	1.08	22	1.10	-	-	3	0.15
宮城県	62	3.44	7	0.39	7	0.39	45	2.50	48	4.00	7	0.58	2	0.17
秋田県	3	0.21	-	-	-	-	1	0.07	11	1.38	2	0.25	-	-
山形県	23	2.30	-	-	-	-	6	0.60	24	2.40	5	0.50	1	0.10
福島県	30	1.88	2	0.13	8	0.50	40	2.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	46	2.71	6	0.35	4	0.24	39	2.29	9	1.00	-	-	-	-
栃木県	40	2.50	1	0.06	3	0.19	45	2.81	13	1.86	-	-	-	-
群馬県	60	2.40	3	0.12	3	0.12	33	1.32	35	3.50	-	-	-	-
埼玉県	49	0.96	7	0.14	6	0.12	57	1.12	27	3.00	-	-	-	-
千葉県	60	1.54	15	0.38	14	0.36	39	1.00	18	2.00	16	1.78	-	-
東京都	124	3.10	34	0.85	24	0.60	103	2.58	69	3.83	6	0.33	11	0.61
神奈川県	74	1.23	13	0.22	7	0.12	80	1.33	19	1.73	2	0.18	-	-
新潟県	42	2.21	5	0.26	9	0.47	46	2.42	20	1.54	2	0.15	-	-
富山県	18	2.57	5	0.71	-	-	9	1.29	20	4.00	1	0.20	-	-
石川県	10	1.00	3	0.30	1	0.10	9	0.90	8	1.60	-	-	-	-
福井県	11	2.20	2	0.40	2	0.40	8	1.60	10	1.67	5	0.83	1	0.17
山梨県	6	1.00	-	-	-	-	10	1.67	12	1.50	8	1.00	1	0.13
長野県	20	1.25	4	0.25	3	0.19	24	1.50	17	1.55	2	0.18	-	-
岐阜県	18	1.20	7	0.47	4	0.27	18	1.20	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	46	1.53	6	0.20	7	0.23	30	1.00	23	2.30	2	0.20	-	-
愛知県	160	3.14	21	0.41	24	0.47	145	2.84	25	1.92	-	-	-	-
三重県	20	1.54	6	0.46	7	0.54	19	1.46	30	3.75	1	0.13	-	-
滋賀県	3	0.33	1	0.11	1	0.11	9	1.00	16	2.29	-	-	-	-
京都府	13	0.62	1	0.05	3	0.14	12	0.57	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	153	2.59	64	1.08	34	0.58	191	3.24	24	2.67	2	0.22	1	0.11
兵庫県	72	1.57	8	0.17	7	0.15	62	1.35	21	1.50	-	-	1	0.07
奈良県	17	1.89	2	0.22	4	0.44	31	3.44	21	3.50	5	0.83	1	0.17
和歌山県	5	0.63	5	0.63	1	0.13	10	1.25	13	1.30	-	-	2	0.20
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-	4	0.80	8	1.60	-	-	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	-	-	8	1.33	17	2.13	-	-	-	-
岡山県	30	1.76	1	0.06	5	0.29	50	2.94	7	1.40	-	-	2	0.40
広島県	19	0.73	8	0.31	3	0.12	27	1.04	73	3.48	28	1.33	2	0.10
山口県	18	1.50	3	0.25	3	0.25	22	1.83	37	5.29	4	0.57	6	0.86
徳島県	2	0.33	4	0.67	2	0.33	-	-	9	1.29	-	-	-	-
香川県	18	2.00	2	0.22	3	0.33	14	1.56	11	2.20	2	0.40	-	-
愛媛県	10	0.91	2	0.18	2	0.18	9	0.82	3	0.50	2	0.33	-	-
高知県	6	1.00	-	-	-	-	6	1.00	48	6.00	5	0.63	4	0.50
福岡県	92	2.71	14	0.41	11	0.32	118	3.47	17	1.00	-	-	-	-
佐賀県	22	3.14	3	0.43	-	-	22	3.14	22	3.67	1	0.17	-	-
長崎県	3	0.38	8	1.00	-	-	10	1.25	1	0.10	-	-	-	-
熊本県	36	2.57	10	0.71	20	1.43	28	2.00	23	1.53	2	0.13	-	-
大分県	8	0.80	6	0.60	1	0.10	7	0.70	16	1.60	2	0.20	-	-
宮崎県	34	3.09	2	0.18	-	-	23	2.09	9	1.29	2	0.29	2	0.29
鹿児島県	26	1.63	3	0.19	5	0.31	43	2.69	12	1.00	-	-	-	-
沖縄県	1	0.08	1	0.08	-	-	5	0.42	23	3.29	5	0.71	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成13年9月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2042	2.25	384	0.42	186	0.20	336	0.37	525	1.16	79	0.17	22	0.05
北海道	165	3.84	18	0.42	2	0.05	13	0.30	8	0.35	2	0.09	2	0.09
青森県	25	2.08	-	-	3	0.25	6	0.50	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	35	2.69	6	0.46	5	0.38	5	0.38	10	0.50	-	-	-	-
宮城県	57	3.17	12	0.67	8	0.44	19	1.06	30	2.50	4	0.33	1	0.08
秋田県	19	1.36	2	0.14	3	0.21	2	0.14	3	0.38	1	0.13	-	-
山形県	22	2.20	1	0.10	-	-	9	0.90	14	1.40	5	0.50	-	-
福島県	13	0.81	6	0.38	2	0.13	8	0.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	65	3.82	3	0.18	3	0.18	5	0.29	7	0.78	-	-	-	-
栃木県	37	2.31	-	-	-	-	5	0.31	6	0.86	-	-	-	-
群馬県	72	2.88	2	0.08	4	0.16	12	0.48	8	0.80	-	-	-	-
埼玉県	116	2.27	10	0.20	14	0.27	7	0.14	12	1.33	1	0.11	1	0.11
千葉県	87	2.23	14	0.36	8	0.21	2	0.05	16	1.78	10	1.11	-	-
東京都	112	2.80	52	1.30	24	0.60	31	0.78	39	2.17	4	0.22	3	0.17
神奈川県	63	1.05	7	0.12	2	0.03	4	0.07	11	1.00	4	0.36	-	-
新潟県	21	1.11	4	0.21	1	0.05	3	0.16	16	1.23	-	-	-	-
富山県	4	0.57	3	0.43	4	0.57	2	0.29	15	3.00	2	0.40	-	-
石川県	8	0.80	-	-	-	-	1	0.10	7	1.40	4	0.80	-	-
福井県	11	2.20	1	0.20	-	-	-	-	10	1.67	-	-	-	-
山梨県	15	2.50	1	0.17	2	0.33	-	-	3	0.38	5	0.63	-	-
長野県	45	2.81	13	0.81	8	0.50	-	-	11	1.00	-	-	-	-
岐阜県	11	0.73	5	0.33	-	-	5	0.33	4	0.80	-	-	-	-
静岡県	60	2.00	6	0.20	5	0.17	5	0.17	17	1.70	2	0.20	-	-
愛知県	94	1.84	9	0.18	8	0.16	20	0.39	15	1.15	-	-	-	-
三重県	20	1.54	1	0.08	-	-	1	0.08	9	1.13	2	0.25	-	-
滋賀県	14	1.56	-	-	-	-	-	-	8	1.14	-	-	2	0.29
京都府	38	1.81	13	0.62	5	0.24	1	0.05	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	150	2.54	79	1.34	22	0.37	70	1.19	19	2.11	2	0.22	-	-
兵庫県	69	1.50	20	0.43	7	0.15	3	0.07	5	0.36	1	0.07	-	-
奈良県	7	0.78	1	0.11	-	-	2	0.22	7	1.17	-	-	-	-
和歌山県	5	0.63	4	0.50	-	-	1	0.13	12	1.20	1	0.10	2	0.20
鳥取県	11	2.20	-	-	1	0.20	-	-	9	1.80	1	0.20	-	-
島根県	2	0.33	-	-	3	0.50	-	-	14	1.75	3	0.38	-	-
岡山県	93	5.47	11	0.65	2	0.12	18	1.06	3	0.60	-	-	-	-
広島県	53	2.04	7	0.27	5	0.19	7	0.27	42	2.00	13	0.62	4	0.19
山口県	38	3.17	5	0.42	4	0.33	9	0.75	16	2.29	1	0.14	2	0.29
徳島県	2	0.33	-	-	3	0.50	2	0.33	3	0.43	-	-	-	-
香川県	31	3.44	1	0.11	1	0.11	1	0.11	5	1.00	-	-	-	-
愛媛県	34	3.09	-	-	1	0.09	1	0.09	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	28	3.50	5	0.63	4	0.50
福岡県	123	3.62	29	0.85	11	0.32	16	0.47	10	0.59	-	-	-	-
佐賀県	15	2.14	7	1.00	1	0.14	4	0.57	5	0.83	-	-	-	-
長崎県	18	2.25	10	1.25	6	0.75	5	0.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	67	4.79	11	0.79	2	0.14	12	0.86	22	1.47	1	0.07	-	-
大分県	3	0.30	2	0.20	-	-	2	0.20	12	1.20	3	0.30	1	0.10
宮崎県	35	3.18	1	0.09	-	-	3	0.27	10	1.43	-	-	-	-
鹿児島県	24	1.50	6	0.38	5	0.31	6	0.38	7	0.58	-	-	-	-
沖縄県	32	2.67	-	-	1	0.08	8	0.67	11	1.57	2	0.29	-	-

注)10月19日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成13年9月

	結核
	報告数
総数	2749
北海道	96
青森県	25
岩手県	21
宮城県	36
秋田県	30
山形県	13
福島県	37
茨城県	47
栃木県	39
群馬県	30
埼玉県	119
千葉県	95
東京都	281
神奈川県	173
新潟県	44
富山県	27
石川県	25
福井県	15
山梨県	11
長野県	20
岐阜県	42
静岡県	67
愛知県	185
三重県	39
滋賀県	22
京都府	56
大阪府	382
兵庫県	140
奈良県	32
和歌山県	24
鳥取県	8
島根県	16
岡山県	31
広島県	35
山口県	32
徳島県	21
香川県	21
愛媛県	20
高知県	17
福岡県	120
佐賀県	21
長崎県	44
熊本県	46
大分県	31
宮崎県	21
鹿児島県	54
沖縄県	38



41週 of データ

注)表中の報告数は10月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年41週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	45	11	528	1	54	2	15
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	16	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	23	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	30	-	4	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	2	107	-	15	2	11
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	37	-	2	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	9	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	31	-	5	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	46	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年41週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	41	3978	3	312	-	8	-	-	-	28	-	-	4	739
北海道	-	-	-	-	-	139	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	1	10
青森県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	74	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	44	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	25
秋田県	-	-	-	-	-	58	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	1	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	3	85	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
埼玉県	-	-	-	-	-	209	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
千葉県	-	-	-	-	-	356	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
東京都	-	-	-	-	1	300	2	88	-	-	-	-	-	7	-	-	1	118
神奈川県	-	-	-	-	-	255	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
新潟県	-	-	-	-	1	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	3	83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	1	53	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	1	59	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
長野県	-	-	-	-	-	58	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
岐阜県	-	-	-	-	-	21	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
静岡県	-	-	-	-	-	52	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	2	164	-	12	-	-	-	-	-	5	-	-	-	17
三重県	-	-	-	-	-	79	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	43	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	89	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	2	322	-	47	-	-	-	-	-	4	-	-	-	79
兵庫県	-	-	-	-	2	250	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67
奈良県	-	-	-	-	1	56	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	2	92	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	5	70	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
広島県	-	-	-	-	3	81	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	22
山口県	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	48	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	8	133	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	48
佐賀県	-	-	-	-	-	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	3	72	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	1	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
宮崎県	-	-	-	-	-	35	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
鹿児島県	-	-	-	-	-	43	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
沖縄県	-	-	-	-	-	23	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年41週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	22	-	-	-	6	-	94	-	37	10	707	-	1	-	111	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	18	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	27	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	53	-	-	-	2	-	-
東京都	-	7	-	-	-	4	-	7	-	4	7	280	-	-	-	52	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	1	69	-	-	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	15	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	28	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	13	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	67	-	-	-	13	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	17	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年41週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	1	-	-	1	203	-	41	1	29	-	2	-	-	3	421
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	19	-	-	-	-	-	-	-	78
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	12
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	93
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	19
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	7	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	19
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	7	-	-	-	-	1	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年41週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	61	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	1	87	-	11	-	58
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	2
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
東京都	-	3	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	3	-	10
神奈川県	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1
兵庫県	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年41週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	82	0.02	141	0.05	1751	0.58	6305	2.10	1807	0.60	1796	0.60	529	0.18	2244	0.75	38	0.01
北海道	9	0.04	17	0.12	159	1.10	218	1.50	120	0.83	199	1.37	26	0.18	69	0.48	3	0.02
青森県	2	0.03	-	-	10	0.24	52	1.24	24	0.57	34	0.81	25	0.60	12	0.29	1	0.02
岩手県	-	-	-	-	14	0.38	46	1.24	33	0.89	20	0.54	5	0.14	21	0.57	-	-
宮城県	3	0.03	1	0.02	52	0.88	176	2.98	42	0.71	46	0.78	18	0.31	59	1.00	1	0.02
秋田県	-	-	1	0.03	20	0.57	58	1.66	16	0.46	60	1.71	23	0.66	21	0.60	3	0.09
山形県	5	0.10	-	-	63	2.10	44	1.47	11	0.37	33	1.10	8	0.27	22	0.73	2	0.07
福島県	-	-	-	-	23	0.48	89	1.85	37	0.77	40	0.83	14	0.29	30	0.63	-	-
茨城県	-	-	3	0.04	30	0.41	162	2.22	22	0.30	37	0.51	10	0.14	45	0.62	1	0.01
栃木県	-	-	3	0.07	16	0.35	57	1.24	27	0.59	2	0.04	17	0.37	37	0.80	-	-
群馬県	-	-	3	0.05	50	0.91	71	1.29	57	1.04	10	0.18	7	0.13	46	0.84	1	0.02
埼玉県	6	0.02	9	0.06	110	0.69	436	2.73	100	0.63	56	0.35	22	0.14	143	0.89	5	0.03
千葉県	1	0.01	1	0.01	87	0.69	230	1.81	78	0.61	45	0.35	15	0.12	85	0.67	-	-
東京都	-	-	3	0.02	26	0.18	285	2.01	53	0.37	32	0.23	23	0.16	71	0.50	-	-
神奈川県	1	0.00	9	0.04	86	0.42	371	1.80	98	0.48	132	0.64	27	0.13	193	0.94	1	0.00
新潟県	1	0.01	6	0.10	73	1.24	139	2.36	45	0.76	109	1.85	5	0.08	49	0.83	-	-
富山県	-	-	-	-	31	1.07	67	2.31	30	1.03	23	0.79	5	0.17	12	0.41	-	-
石川県	-	-	-	-	27	0.93	72	2.48	15	0.52	52	1.79	2	0.07	21	0.72	-	-
福井県	-	-	-	-	10	0.45	84	3.82	28	1.27	26	1.18	3	0.14	8	0.36	1	0.05
山梨県	10	0.24	-	-	10	0.40	33	1.32	18	0.72	2	0.08	4	0.16	9	0.36	-	-
長野県	-	-	7	0.13	81	1.50	112	2.07	38	0.70	70	1.30	5	0.09	35	0.65	1	0.02
岐阜県	12	0.16	3	0.06	23	0.49	45	0.96	45	0.96	45	0.96	16	0.34	30	0.64	1	0.02
静岡県	-	-	3	0.03	49	0.57	187	2.17	51	0.59	78	0.91	9	0.10	82	0.95	-	-
愛知県	3	0.02	6	0.03	105	0.58	334	1.84	91	0.50	185	1.02	21	0.12	106	0.58	2	0.01
三重県	-	-	3	0.08	27	0.68	185	4.63	36	0.90	12	0.30	23	0.58	43	1.07	1	0.03
滋賀県	-	-	1	0.03	11	0.34	22	0.69	8	0.25	23	0.72	4	0.13	18	0.56	-	-
京都府	-	-	3	0.04	34	0.45	236	3.11	44	0.58	54	0.71	11	0.14	50	0.66	2	0.03
大阪府	1	0.00	9	0.05	68	0.36	356	1.89	103	0.55	35	0.19	23	0.12	132	0.70	5	0.03
兵庫県	-	-	6	0.05	39	0.30	342	2.67	67	0.52	26	0.20	24	0.19	128	1.00	1	0.01
奈良県	-	-	-	-	9	0.26	74	2.11	16	0.46	8	0.23	7	0.20	26	0.74	-	-
和歌山県	-	-	1	0.03	11	0.35	42	1.35	19	0.61	23	0.74	4	0.13	16	0.52	-	-
鳥取県	-	-	-	-	31	1.63	72	3.79	5	0.26	26	1.37	3	0.16	27	1.42	1	0.05
島根県	-	-	1	0.04	6	0.26	32	1.39	14	0.61	26	1.13	1	0.04	10	0.43	-	-
岡山県	-	-	1	0.02	14	0.26	96	1.78	21	0.39	39	0.72	1	0.02	27	0.50	-	-
広島県	-	-	13	0.18	44	0.59	164	2.22	50	0.68	46	0.62	9	0.12	42	0.57	-	-
山口県	-	-	4	0.08	43	0.88	131	2.67	25	0.51	8	0.16	9	0.18	45	0.92	-	-
徳島県	-	-	-	-	10	0.43	41	1.78	26	1.13	15	0.65	7	0.30	15	0.65	1	0.04
香川県	-	-	1	0.03	18	0.56	83	2.59	12	0.38	30	0.94	4	0.13	26	0.81	-	-
愛媛県	-	-	-	-	16	0.41	154	3.95	16	0.41	11	0.28	16	0.41	42	1.08	1	0.03
高知県	-	-	-	-	25	0.81	30	0.97	26	0.84	2	0.06	5	0.16	13	0.42	-	-
福岡県	2	0.01	6	0.06	60	0.57	241	2.30	53	0.50	2	0.02	20	0.19	104	0.99	2	0.02
佐賀県	-	-	-	-	8	0.35	26	1.13	16	0.70	1	0.04	3	0.13	26	1.13	-	-
長崎県	-	-	2	0.04	4	0.08	87	1.81	15	0.31	21	0.44	9	0.19	27	0.56	-	-
熊本県	1	0.01	6	0.12	37	0.76	103	2.10	32	0.65	32	0.65	11	0.22	79	1.61	-	-
大分県	-	-	1	0.03	21	0.58	116	3.22	28	0.78	1	0.03	8	0.22	42	1.17	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	38	1.03	154	4.16	33	0.89	3	0.08	6	0.16	48	1.30	-	-
鹿児島県	15	0.15	5	0.08	20	0.33	128	2.13	48	0.80	13	0.22	10	0.17	43	0.72	-	-
沖縄県	10	0.17	1	0.03	2	0.06	22	0.65	15	0.44	3	0.09	1	0.03	9	0.26	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年41週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	20	0.01	567	0.19	119	0.04	3624	1.21	14	0.02	611	0.97	1	0.00	4	0.01	11	0.02
北海道	-	-	99	0.68	21	0.14	137	0.94	-	-	29	1.00	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	10	0.24	-	-	45	1.07	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	13	0.35	-	-	26	0.70	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	32	0.54	2	0.03	39	0.66	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	23	0.66	1	0.03	20	0.57	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	8	0.27	-	-	46	1.53	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	3	0.06	1	0.02	73	1.52	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	4	0.05	3	0.04	125	1.71	-	-	32	2.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.04	3	0.07	-	-	29	0.63	1	0.08	24	2.00	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	8	0.15	-	-	32	0.58	-	-	17	1.42	-	-	-	-	1	0.11
埼玉県	-	-	24	0.15	4	0.03	179	1.12	1	0.03	32	0.89	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	17	0.13	5	0.04	103	0.81	1	0.03	28	0.85	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	9	0.06	-	-	88	0.62	-	-	22	1.57	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	8	0.04	8	0.04	178	0.86	-	-	25	0.60	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	131	2.22	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	9	0.31	-	-	89	3.07	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	3	0.10	-	-	157	5.41	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	7	0.32	-	-	29	1.32	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	2	0.08	-	-	31	1.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	10	0.19	1	0.02	168	3.11	2	0.20	20	2.00	-	-	-	-	-	-
岐阜県	2	0.04	4	0.09	-	-	89	1.89	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.03	5	0.06	4	0.05	119	1.38	-	-	8	0.40	-	-	1	0.13	-	-
愛知県	2	0.01	14	0.08	11	0.06	189	1.04	-	-	27	0.77	-	-	1	0.08	-	-
三重県	-	-	2	0.05	1	0.03	56	1.40	1	0.09	7	0.64	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	-	-	1	0.03	2	0.06	21	0.66	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	7	0.09	-	-	64	0.84	-	-	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	36	0.19	7	0.04	179	0.95	1	0.02	23	0.45	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	11	0.09	-	-	107	0.84	2	0.06	16	0.46	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	-	-	7	0.20	43	1.23	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.50
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	47	1.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	7	0.37	2	0.11	8	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	-	-	13	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	6	0.11	-	-	46	0.85	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	5	0.07	1	0.01	63	0.85	-	-	25	1.25	-	-	1	0.05	-	-
山口県	-	-	20	0.41	4	0.08	24	0.49	1	0.11	13	1.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	28	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	2	0.06	3	0.09	-	-	29	0.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	20	0.51	-	-	89	2.28	-	-	19	2.71	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	2	0.06	-	-	6	0.19	-	-	3	1.00	-	-	1	0.13	-	-
福岡県	-	-	20	0.19	16	0.15	150	1.43	-	-	36	1.50	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	11	0.48	3	0.13	71	3.09	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	17	0.35	6	0.13	18	0.38	2	0.20	13	1.30	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	35	0.71	2	0.04	54	1.10	-	-	24	2.67	1	0.07	-	-	3	0.20
大分県	1	0.03	10	0.28	1	0.03	47	1.31	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	22	0.59	-	-	67	1.81	1	0.25	28	7.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.03	7	0.12	1	0.02	131	2.18	-	-	21	3.50	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	1	0.03	5	0.15	141	4.15	1	0.10	9	0.90	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年41週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	106	0.23	6	0.01	5	0.01
北海道	2	0.09	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	6	0.30	-	-	-	-
宮城県	15	1.25	-	-	-	-
秋田県	1	0.14	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.11	1	0.11	-	-
埼玉県	2	0.22	3	0.33	1	0.11
千葉県	3	0.23	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	4	0.16
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	4	0.31	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
長野県	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	6	0.75	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	3	0.43	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	7	0.58	-	-	-	-
兵庫県	5	0.36	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	10	0.48	-	-	-	-
山口県	2	0.22	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	4	0.27	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.13	-	-	-	-
大分県	3	0.30	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第41号 平成13年10月26日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。